Panasonic

取扱説明書

ブルーレイディスクプレーヤー搭載
ポータブル地上デジタルテレビ

品番 DMP-BV300

製品に関する情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/bdplayer/

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(➜ 50 ～ 53 ページ) を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

VQT3B85-5

テレビ

本機の４アンテナ ダイバーシティシステムで高画質な地上デジタル放送を楽しむことができます。

- ■ 電波状況が悪い場所では、自動的に携帯端末用のワンセグ放送に切り換わります。
- ■ 地上アナログ・BS デジタル・110 度 CS デジタル放送は受信することができません。
- ■ 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。
- ■ 地上デジタル放送やワンセグの放送エリアなどの最新情報について詳しくは下記ホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

●●● 21 ページ

ブルーレイ /DVD/SD カード /USB 機器

ブルーレイディスクや DVD の映像、またメディアに記録した写真や動画（AVCHD・MPEG2）、さらに高画質 (VGA) の持ち出し番組を楽しむことができます。

●●● 24 ページ

フォトフレーム

音楽 CD を聞きながら SD カードに記録した写真や動画 (AVCHD) をスライドショー再生するデジタルフォトフレームとして楽しむことができます。

●●● 27 ページ

ドアホン・センサーカメラ

ドアホン来客時やセンサーカメラ検知時に本機の画面に表示することができます。

●●● 33 ページ

楽しむ

インターネット（テレビでネット）

動画共有サイトのサービスや別売のビエラコミュニケーションカメラを使った通話を楽しむことができます。

●●● 31 ページ

お部屋ジャンプリンク

別の部屋の DLNA 対応機器（当社製ディーガなど）に保存された映像や写真などを本機で楽しむことができます。

●●● 32 ページ

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(➜50～53ページ)

はじめに

設置

視聴

再生

設定

必要なとき

無許可コピーコンテンツの利用制限について
本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。
Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

■ **本書内の表現について**
本書内で参照していただくページを (➜ ○○) で示しています。

付属品

リモコン（1 個）
N2QAYB000595
● リモコンは本機専用です。

リモコン用乾電池（2 本）
単 3 形乾電池

AC アダプター（1 個）
RFEA224J

電源コード（1 本）
K2CA2CA00024

バッテリーパック（1 個）
充電式リチウムイオン電池

L 型 USB アダプター（1 個）
K9ZZ00002246
● 無線 LAN アダプター (別売) 専用

miniB-CAS カード（1 枚）

● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
● 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
● 付属品・別売品の品番は、2011 年 1 月現在のものです。変更されることがあります。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

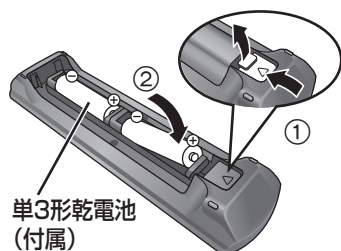
CLUB Panasonic

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。

http://p-mp.jp/cpm

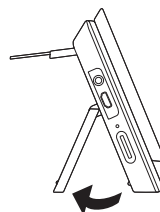
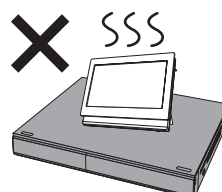
リモコンの準備

電池を入れてください。

● ⊕ ⊖ を確認してください。
● 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
● 本機のリモコン受信部 (➜ 6) に向けて、まっすぐ操作してください。

取り扱いについて

本機の設置

水平で安定した平面に、スタンドを開いた状態で、立てて置いてください。

スタンドは開ききった状態でお使いください。

● 液晶画面を下にして置かないでください。
液晶画面の表面に傷がつく原因になります。
● レコーダーなどの熱源となるものの上に置かないでください。

● 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置してください。(➜ 下記)
● 不安定な場所に設置しないでください。
● 重いものを上に載せないでください。
● 車の中に設置しないでください。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。
●「つゆつき」が発生しやすい状況
– 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
– 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
– 梅雨の時期
●「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、設置場所の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

お手入れ

本機

- バッテリーパックを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をかたく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。なお、液晶画面には使用しないでください。

レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な再生ができなくなることがあります。使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、別売のレンズクリーナー（SZZP1038C）でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- CD タイプのレンズクリーナーはご使用になれません。

- 液晶画面や画面の周りは特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。(➜ 37「個人情報リセット」)

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

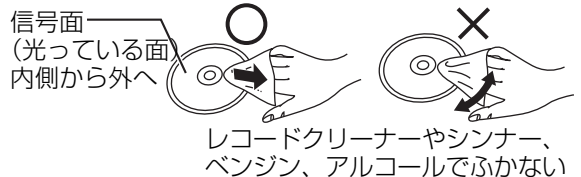
ディスク・カード

持ちかた

信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー（別売）のご使用をおすすめします。
- ディスクが汚れている場合、再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - · シールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - · 印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - · 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - · 以下のディスクを使わない。
    - –シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - –そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - –ハート型など、特殊な形のディスク

- **カード**
  - · 端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

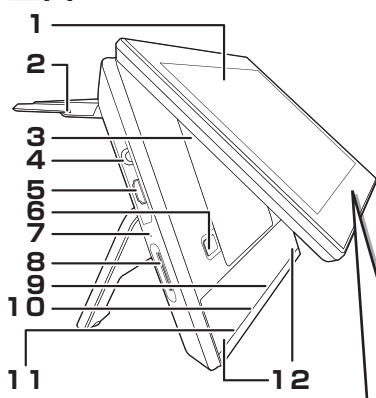
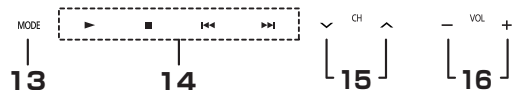
- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

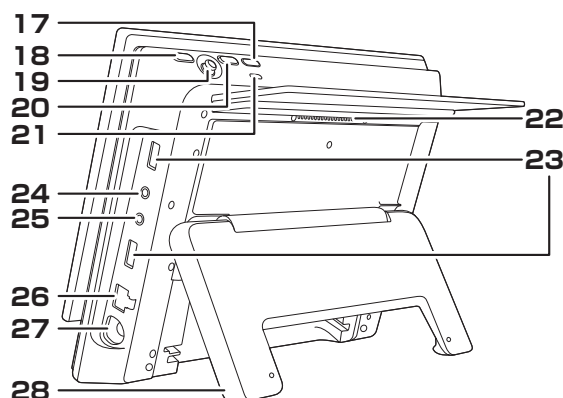
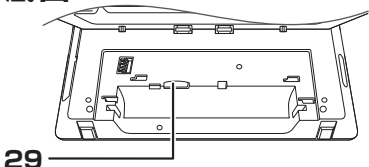
使用後はケースに収めてください。

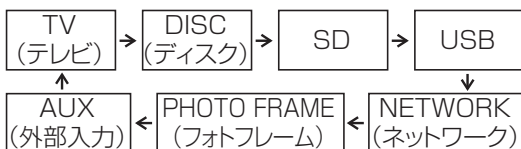
各部のはたらき

本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

本体

正面

■ 基本操作ボタン

本機の基本操作ボタンは、タッチ方式を採用しているため、指で軽く触れるだけで働きます。ただし、[LCD ボタンライト] (➜ 7) でボタンの点灯を「切」にしている場合、基本操作ボタンに触れると、数秒間ボタンが点灯しますが機能は働きません。点灯中にもう一度ボタンに触れることで機能が働きます。

背面

底面

1 液晶画面 (LCD)
2 アンテナ (➜ 10)
3 ディスクふた
4 外部アンテナを接続する (➜ 10)
5 HDMI ケーブルを接続する (➜ 13)
6 ディスクふたを開ける (➜ 18)
7 SD カードアクセスランプ (➜ 18)
8 SD カードを入れる (➜ 18)
9 リモコン受信部
受信範囲
正面：約 7 m 以内
左右：各約 30°
上下：各約 20°
10 着信ランプ [CALL]
ビエラコミュニケーションの着信があったときなどに点滅します。(➜ 31)
- バッテリーパックのみで使用中の場合は点滅しません。

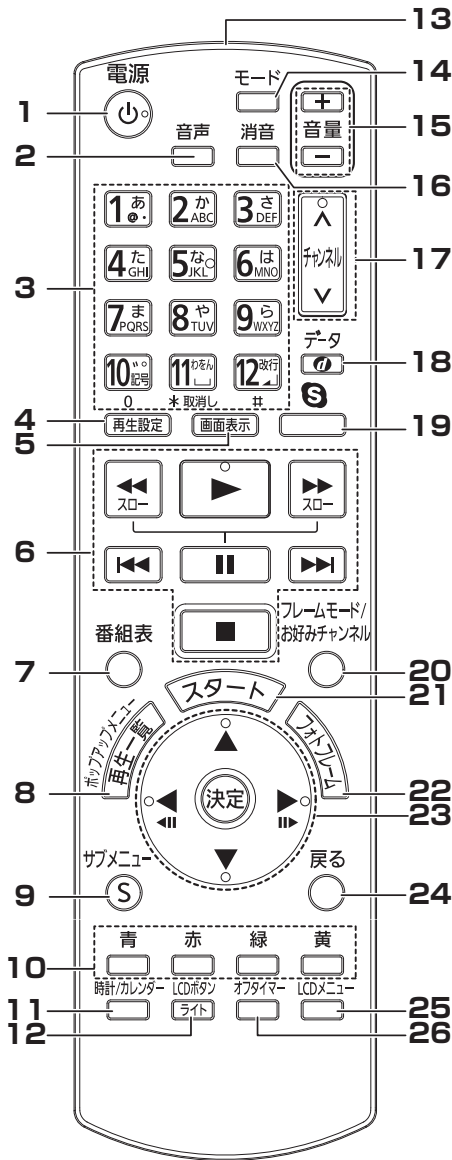
11 充電ランプ [CHG]
バッテリーパック充電時に点灯します。(➜ 12)
12 スピーカー
13 再生するメディアや操作する機能を切り換える
押すごとに切り換わります。

14 再生時の基本操作 (➜ 24)
15 テレビ放送のチャンネルを切り換える (➜ 21)
- 「TV」以外を選択時に押すと、「TV」に切り換わります。

16 音量を調整する
17 本機の電源を入 / 切する (➜ 15)
18 前の画面に戻る
19 画面上で選択する / 決定する：

例：
項目を選択するとき

例：
操作を決定するとき

20 サブメニューを表示する
21 明るさセンサー (➜ 19)
22 放熱孔
23 USB 機器を接続する
24 映像・音声コードを接続する
25 ヘッドホン端子 [🎧]
(φ 3.5 mm ステレオミニジャック)
26 ネットワーク接続をする (➜ 14)
27 AC アダプターを接続する (➜ 11)
28 スタンド (➜ 4)
29 miniB-CAS カードを挿入する (➜ 10)

リモコン

1 本機の電源を入 / 切する (➜ 15)
2 音声を切り換える (➜ 23、25)
3 チャンネルや番組などを番号で選ぶ / 数字や文字を入力する
[取消し]：入力した数値などを取り消す
4 信号切換や再生方法の設定などをする (➜ 34)
5 情報を表示する (➜ 21、24、28)
6 再生時の基本操作 (➜ 24)
7 番組表を表示する (➜ 22)
8 再生一覧画面を表示する / ポップアップメニューを表示する (➜ 24)
9 サブメニューを表示する
10 画面上の指示に応じて使用する
11 フォトフレームの日付・時刻と動画や写真表示の組み合わせを選択する (➜ 27)
12 本体の基本操作ボタンの点灯を入 / 切する (➜ 6)
13 リモコン送信部
14 再生するメディアや操作する機能を切り換える (➜ 6)
15 音量を調整する
16 音声を消す
もう一度押すと解除します。
17 テレビ放送のチャンネルを切り換える (➜ 21)
- 「TV」以外を選択時に押すと、「TV」に切り換わります。

18 データ放送の画面を表示する (➜ 21)
19 ビデオコミュニケーションの画面を表示する (➜ 31)
20 お好みチャンネルを表示する (➜ 23) / フォトフレームの背景の色やデザインを切り換える (➜ 27)
21 スタート画面を表示する (➜ 20)
22 フォトフレームとして再生する (➜ 27)
23 画面上で選択する / 決定する、コマ送り / コマ戻し
24 前の画面に戻る
25 画面設定を変える (➜ 19)
26 自動的に電源を切る
設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

はじめに

再生できるディスク・SD カード・USB 機器について

本書内の表示	代表的なロゴ	メディアの種類	再生できる内容 (➜ 47)
BD	Blu-ray Disc	BD ビデオ	市販またはレンタルソフト
		BD-RE	録画番組 JPEG
		BD-R※ 1	録画番組
DVD	DVD VIDEO	DVD ビデオ	市販またはレンタルソフト
	DVD RAM RAM4.7	DVD-RAM	録画番組※ 2 AVCHD JPEG
	DVD R R4.7	DVD-R	録画番組※ 2 AVCHD MP3 JPEG
	DVD R R DL	DVD-R DL	
	DVD R W	DVD-RW	録画番組 AVCHD
	–	+R/+RW/+R DL	
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽 CD	CD-DA 方式に準拠する市販またはレンタルソフト
	–	CD-R CD-RW	CD-DA 方式に準拠して記録された音楽や音声 MP3 JPEG
SD	SD XC	SD メモリーカード （8 MB ～ 2 GB まで） SDHC メモリーカード (4 GB ～ 32 GB まで) SDXC メモリーカード （48 GB、64 GB） （mini タイプ、micro タイプにも対応）	持ち出し番組※ 3 MPEG-2 AVCHD JPEG
USB	–	USB 機器 （2TB まで）	MP3 JPEG

※ 1 LTH type も再生できます。
※ 2 AVCREC を含みます。
※ 3 当社製ブルーレイディスクレコーダー（DMR-BZT900 など）で記録した高画質（VGA）またはワンセグ画質（QVGA）の持ち出し番組が再生できます。

■ 再生できないディスク

下記のディスクや前ページでご紹介していないディスクは再生できません。

- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- カートリッジから取り出せない DVD-RAM（TYPE1）
- SACD
- Photo-CD
- DVD オーディオ
- ビデオ CD、SVCD
- WMA ディスク
- DivX ディスク
- PAL 方式で記録されたディスク
- HD DVD
- BDXL

■ リージョンコード・番号について

BD ビデオや DVD ビデオには、発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられたコード・番号があります。

BD ビデオ

本機のコードは「A」です。「A」（または「A」を含むもの）が表示されたディスクを再生できます。

例）

DVD ビデオ

本機の番号は「2」です。「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示されたディスクを再生できます。

例）

■ ファイナライズ

DVD-R/RW/R DL や +R/+RW/+R DL 、CD-R/RW を本機で再生するには、記録した機器でファイナライズを行う必要があります。

ファイナライズの方法など、詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

■ BD ビデオ

本機は BD ビデオの高音質なサラウンド音声 (Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD) に対応しています。(➜ 39)

- DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio は、DTS Digital Surround として出力されます。

■ 音楽 CD

- CD-DA 規格に準拠していない CD(コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。

■ SD カード

- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、SD カードの内容を誤って消去することを防げます。
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカード、および exFAT 形式でフォーマットされた SDXC メモリーカードに対応しています。
- 非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。
- 使用可能領域は、表示容量より少なくなることがあります。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。

メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ USB 機器

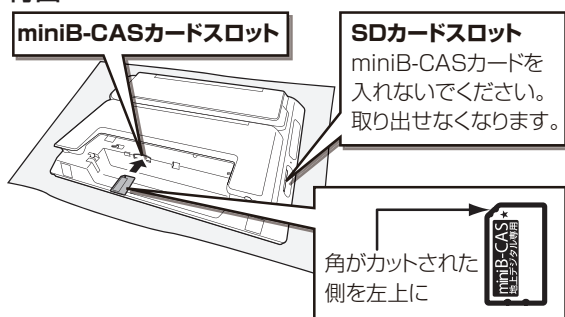
- すべての USB 機器との接続を保証するわけではありません。
- 本機は USB 機器を充電することはできません。
- 本機は FAT12、FAT16 、FAT32 形式でフォーマットされた USB 機器に対応しています。
- 本機はハイスピード USB（USB2.0 準拠）に対応しています。
- 本機は FAT32 形式でフォーマットされた HDD（ハードディスク）に対応しています。HDD が認識されない場合は、HDD に電源が供給されていない可能性があります。外部から電源を供給してください。

- 使用するメディア、記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたにより再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- ディスク制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクの説明書もご覧ください。

miniB-CAS カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へのminiB-CAS カード（付属）の常時挿入が必要です。
本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴はできません。

- 液晶画面の表面に傷がつかないよう、柔らかい布などを敷いて作業を行ってください。
- AC アダプターが接続されていない状態で行ってください。

背面

miniB-CAS カードを、「カチッ」と音がするまで、まっすぐ差し込む

- miniB-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

miniB-CAS カードを取り出すには

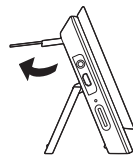
カードの中央部を押し、まっすぐ引き出す

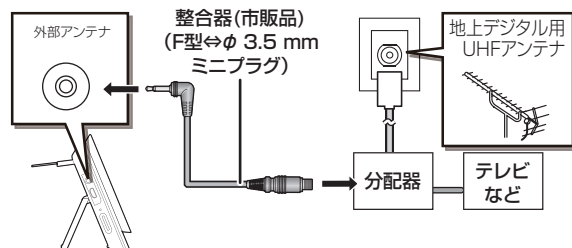
- miniB-CAS カードの挿入 / 取り出しをするときは、急に指を離さないでください。
- miniB-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってあるシートの説明をご覧ください。
- miniB-CAS カードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモなどに控えておいてください。本機でも番号を確認できます。(➜ 42)
- お問い合わせは（紛失時など）
  (株) ビーエス・コンディショナル
  アクセスシステムズ・カスタマーセンター
  TEL：0570-000-250

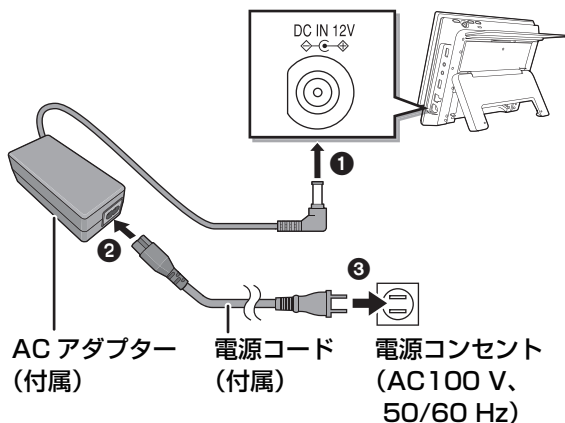
アンテナの準備をする

アンテナを立てる

水平の位置になるまで立ててください。

- アンテナに無理な力を加えないでください。

■ 映像が乱れる場合は

屋外 UHF アンテナと接続してください。

- 整合器を接続すると、自動的に外部アンテナに切り換わります。内蔵アンテナで受信するときは、整合器を本機から抜いてください。
- CATV（ケーブルテレビ）と接続する場合は、ご自宅の CATV 方式について CATV 会社に確認してください。本機は同一周波数パススルー方式のみに対応しており、トランスモジュレーション方式や周波数変換パススルー方式には対応しておりません。
- 本機は 4 アンテナ ダイバーシティシステムを内蔵しています。4 本の異なるアンテナで放送波を受信して処理することにより、最適な受信状態を実現するシステムです。
- 対応する整合器については、当社ホームページまたはカタログでご確認ください。
  http://panasonic.jp/bdplayer/

電源を準備する

AC アダプター

- 電源が切れた状態でも、約 0.1 W の電力を消費しています（クイックスタート「入」時は約 4 W）。長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

海外で使うには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。

日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。
以下のことにお気をつけください。

- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。
- 国によって電源コンセントの形状は異なります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、その国に合った変換プラグをお求めください。
- ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。
- 充電のしかたは、国内と同じです。
- テレビ放送を受信できるのは日本国内のみです。

バッテリーパック

電源「切」状態で作業を行ってください。

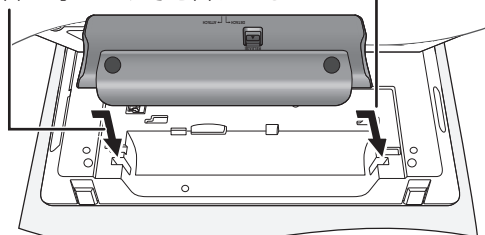
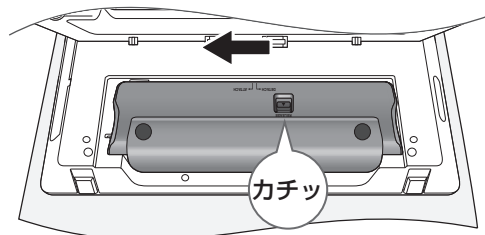
- お買い上げ時、バッテリーパックは充電されていませんので、充電してからお使いください。

本機で使えるバッテリーパックは DY-DB35 です。（2011 年 1 月現在）

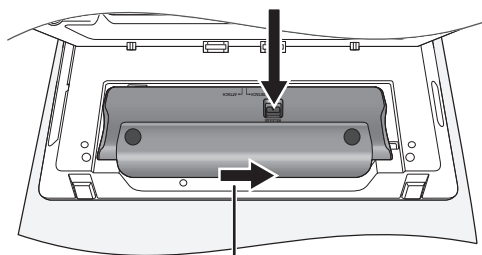
- 本機には、専用バッテリーパック（DY-DB35）を判別する機能があります。そのため、指定以外のバッテリーパックは使用できません。

■ バッテリーパックを取り付ける

- 液晶画面の表面に傷がつかないよう、柔らかい布などを敷き、スタンドを開いた状態で作業を行ってください。

底面

② 左にスライドさせる

- 確実に固定されていることを確認してください。

■ バッテリーパックを取り外す

底面

■ バッテリーパックを充電する

バッテリーパックを取り付けた後、AC アダプターを接続する（➜ 11）

- 充電中は充電ランプ（➜ 6）が点灯、充電が完了すると消灯します。
- 本機では「エコ充電」（➜ 42）機能を使うことができます。
  電源「切」時に充電する場合、画面右下に充電マークが数秒間表示されます。

エコ充電「入」時　　**エコ充電「切」時**

ECO

■ 充電時間と再生時間

バッテリーパック	充電時間※ 1		ディスク再生 / テレビ視聴時間※ 2、※ 3
	エコ充電		
	「入」	「切」	
DY-DB35（付属 / 別売）	約 3 時間 15 分	約 4 時間	約 4 時間

※ 1 20 ℃
※ 2 20 ℃ / ヘッドホン使用 / 液晶画面の明るさ「 −5 」
（➜ 19「液晶画面の映像を調整する」）
※ 3 エコ充電「切」で充電した場合
（エコ充電「入」で充電した場合、バッテリーパックの持続時間は、エコ充電「切」時の約 80 %になります。

- 上記の時間は使用条件により異なります。

■ バッテリーパックの残量を確認する

AC アダプター使用時は表示されません。

電源「入」時に [サブメニュー] を押す

バッテリー残量が数秒間表示されます。

満充電　点滅

表示が点滅したら、バッテリーパックを充電してください。

- 残量が少ない状態でメディアを再生した場合、表示が点滅せずに電源が切れる場合があります。

充電式リチウムイオン電池について

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

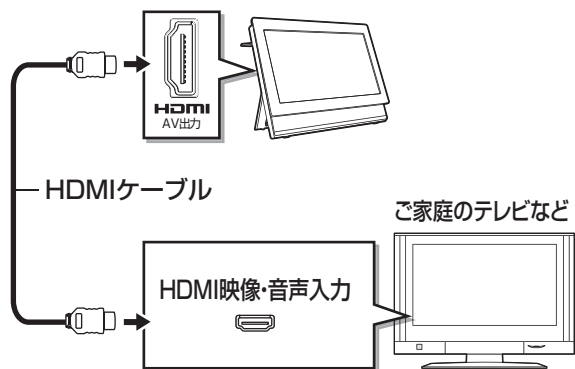
使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

テレビなどと接続する

接続前に、全ての機器の電源を切り、それぞれの機器の説明書もよくお読みください。

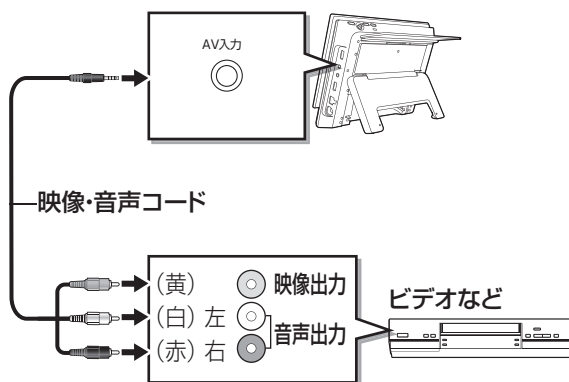
本機の映像や音声を大画面で楽しむ

ビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビ（ビエラ）やアンプと接続すると、連動操作が可能になります。(➜ 30)

1 接続した機器側（テレビなど）の電源を入れ、入力を切り換える

2 本機で再生を始める

- 「HDMI 音声出力」(➜ 40) を「入」に設定してください。

- HDMI 対応マルチチャンネルアンプに接続すると、高音質をサラウンドで楽しむことができます。(➜ 39)
- HDMI ケーブルは 、HDMI ロゴ (➜ 表紙) のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。
  当社製High Speed HDMI™ ケーブルを推奨します。
  品番：
  RP-CDHS10（1.0 m)、RP-CDHS15（1.5 m)、RP-CDHS20（2.0 m)、RP-CDHS30（3.0 m）
  など

ビデオなどの映像や音声を本機で楽しむ

1 [スタート] を押す

2 [▲] [▼] [◀] [▶] で「外部入力」を選び、[決定] を押す

3 ビデオなどで再生を始める

- 当社製映像・音声コード（4 極ミニプラグ~ピンプラグ ×3）を推奨します。
  品番：RP-CVPM3G15

設置

ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

－ソフトウェアを更新する (➜ 18)

－BD-Live 対応のディスクを楽しむ (➜ 26)

－インターネットに接続する（テレビでネット）(➜ 31)

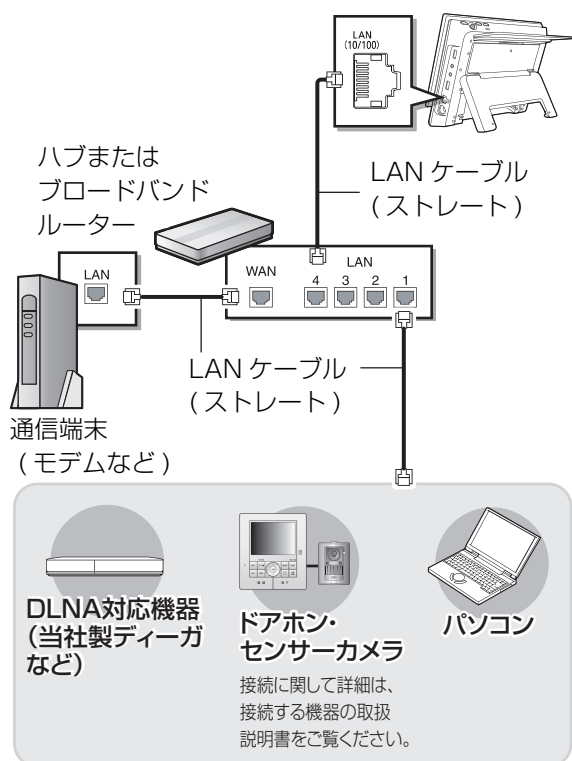
－別の機器のコンテンツを楽しむ （お部屋ジャンプリンク）(➜ 32)

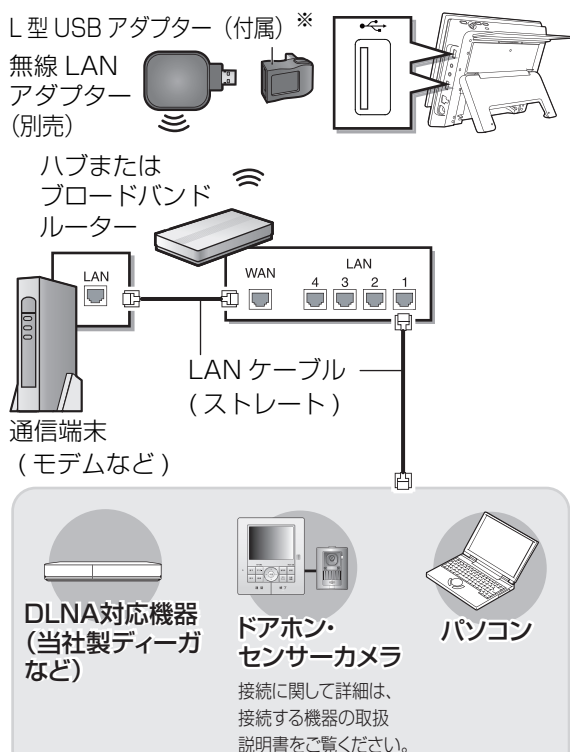
－ドアホンまたはセンサーカメラの映像を見る (➜ 33)

－地上デジタル放送のデータ放送を楽しむ (➜ 21)

さらに詳しい接続のしかたについては、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

- 使用する機器や接続、通信環境などによってはインターネットにつながらなかったり、正常に動作しないことがあります。
- 動作確認済みのドアホンまたはセンサーカメラについては、当社ホームページでご確認ください。
http://panasonic.jp/bdplayer/

LAN ケーブルを使う

- カテゴリー５（CAT5）以上のシールド付き LAN ケーブルのご使用をおすすめします。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。

無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）を使う

※ 接続方法に応じてお使いください。

- 当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）以外はご使用できません。
DY-WL10（別売）の取扱説明書もよくお読みください。
- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーターをお選びください。5 GHz でのご使用をおすすめします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信がとぎれたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーターについては、当社ホームページでご確認ください。
http://panasonic.jp/bdplayer/
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

- ハブやルーターを経由せず、本機と DLNA に対応したレコーダー（ディーガ）を直接接続することもできます。

本機の設定をする

かんたん設置設定をする

お買い上げ後はじめて電源を入れると、チャンネル設定や基本的な設定を行う画面が表示されます。

- **設定中は AC アダプターやバッテリーパックを外したり、電源を切らないでください。**

準備

- miniB-CAS カードを挿入する (➜ 10)
- アンテナの準備をする (➜ 10)

1 電源 **を押す**

設定画面が表示されます。

2 画面の指示に従い、設定を行う

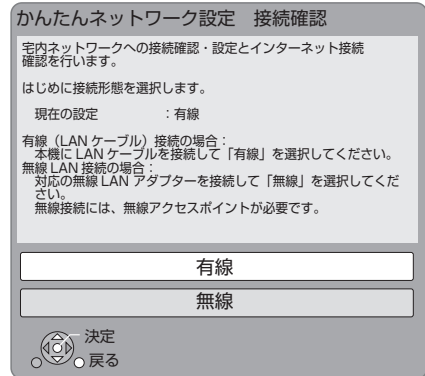
- ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは、「修正する / 確認する」を選んでください。
(➜ 36「マニュアル」)
- 設定したチャンネルは「お好みチャンネル(ホーム)」(➜ 23) に保存されます。
- 内蔵アンテナの場合、お住まいの地域で受信できるチャンネルのすべてを設定できない場合があります。安定した設定のために、窓際など電波を受信しやすい場所で設定するか、屋外アンテナとの接続 (➜ 10) をおすすめします。

かんたんネットワーク設定をする

「かんたん設置設定」を行ったあと、引き続き「かんたんネットワーク設定」をすることができます。

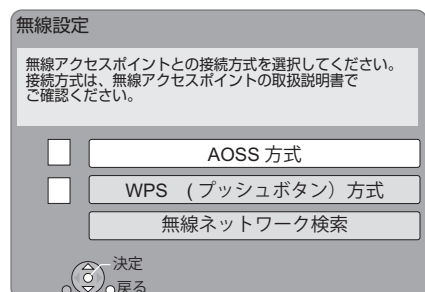
準備

ネットワーク接続をする。(➜ 14)

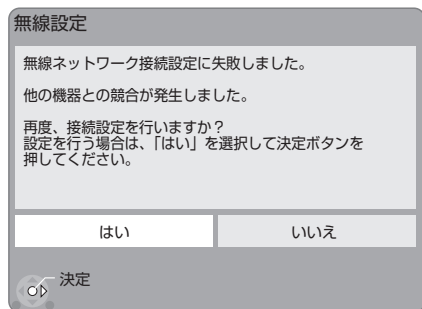
1 [▲][▼] で「有線」または「無線」を選び、決定 を押す

「無線 LAN アダプターが接続されていません。」と表示される場合、無線 LAN アダプターが奥までしっかり挿入されているかの確認、または抜き差しをしてください。それでも表示が変わらない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

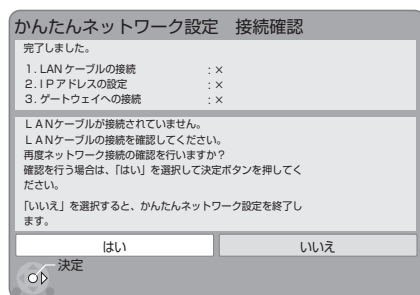
2 画面の指示に従い、設定を行う

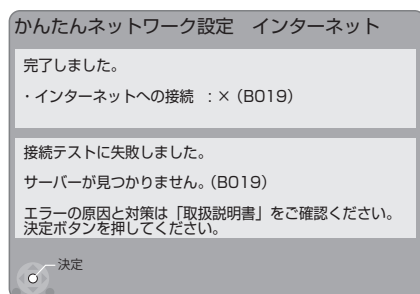
無線接続について

無線ブロードバンドルーターが AOSS™ や WPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、「ＡＯＳＳ 方式」または「ＷＰＳ（プッシュボタン）方式」を選ぶと、かんたんに設定することができます。対応していない場合は、「無線ネットワーク検索」を選んで設定してください。

- AOSS™、WPS は、無線 LAN 機器との接続やセキュリティーに関する設定をかんたんに行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーターが対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク接続に失敗したときは

無線接続に失敗

表示	ここを確認してください
他の機器との競合が発生しました。	● しばらく待ってから、再度実行してください。
タイムアウトエラーが発生しました。	● 無線ブロードバンドルーター側のMACアドレスなどの設定 ● 電波が弱いことが考えられます。無線LANアダプターに付属の延長用USBケーブルを使って、無線LANアダプターの位置を調節してください。 ● 無線設定のSSID(➜ 17) や暗号化キー ● しばらく待ってから、再度実行してください。
認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	
デバイスエラーが発生しました。	● 無線LANアダプターの接続を確認してください。再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
無線ネットワークに接続中の機器数が上限に達したため接続できません。	● 無線ブロードバンドルーターに接続している機器の数を減らしてください。

ネットワーク接続に失敗

表示	ここを確認してください
1. ＬＡＮケーブルの接続または無線設定 :× 2. ＩＰアドレスの設定 :× 3. ゲートウェイへの接続 :×	● LANケーブルの接続(➜ 14)
1. ＬＡＮケーブルの接続または無線設定 :○ 2. ＩＰアドレスの設定 :× 3. ゲートウェイへの接続 :×	● ハブやルーターの接続と設定 ● 「IPアドレス / DNS設定」の設定 (➜ 41)
1. ＬＡＮケーブルの接続または無線設定 :○ 2. ＩＰアドレスの設定 :○または宅内使用可 3. ゲートウェイへの接続 :×	

インターネット接続に失敗

表示	ここを確認してください
サーバーが見つかりません。(B019)	● 「IPアドレス / DNS設定」の「プライマリＤＮＳ」、「セカンダリＤＮＳ」設定(➜ 41)
サーバーへの接続に失敗しました。(B020)	● サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください ● 「プロキシサーバー設定」(➜ 41) やルーターなどの設定

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 「かんたんネットワーク設定」(➜ 41) を選んでネットワーク設定をやり直すことができます。
- 「ネットワーク通信設定」(➜ 41) で、それぞれの項目を設定し直すこともできます。
- お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能 (➜ 32) をご利用になるには、802.11n（5 GHz）をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされる恐れがあります。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーターの暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーターの設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするなどの恐れがありますので、十分お気をつけください。

※ SSID: 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

ドアホン・センサーカメラの接続設定をする

準備

- ネットワーク接続をする。(➜ 14)

1 スタート を押す

2 [▲][▼][◀][▶] で「設定」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼] で「ネットワーク」を選び、決定 を押す

5 [▲][▼] で「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す

6 [▲][▼] で「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、決定 を押す

7 [▲][▼] で「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、決定 を押す

8 [▲][▼] で「入」を選び、決定 を押す

- メッセージを確認したら、[戻る] を押してください。

9 [▲][▼] で「< 新規登録 >」を選び、決定 を押す

10 登録する機器を登録モードにする

機器によって登録モードにする方法は異なります。登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

11 [▲][▼] で「する」を選び、決定 を押す

登録機器の詳細情報を確認するには

① 「機器一覧」から情報を知りたい機器を選び、[決定] を押す
② [▲][▼] で「機器のページ」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で「開く」を選び、[決定] を押す

機器の登録を削除するには

① 「機器一覧」から削除したい機器を選び、[決定] を押す
② [▲][▼] で「登録削除」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で「する」を選び、[決定] を押す

- ドアホンやセンサーカメラは最大 5 台まで登録できます。
- 機器の登録ができない場合は、本機と各機器の接続を確認し、登録したい機器を再起動してから、再度設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた直後に操作をすると、登録できない場合があります。その場合は、約3分待って、操作を行ってください。（登録する機器が登録モードになったのを確認してから手順 11 を行ってください）
- ネットワークの接続や設定が正しく行われていても登録ができない場合は、VIERA（ビエラ）ご相談窓口 (➜ 裏表紙) までお問い合わせください。

ソフトウェアの更新

● AC アダプター接続時のみ (➜ 11)

動作の改善や、新機能の追加のために、当社は本機のソフトウェアを随時更新しています。

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認します。
最新のソフトウェアになっていない場合、下記の画面が表示されます。

最新のソフトウェアが見つかりました。
初期設定から更新を行ってください。

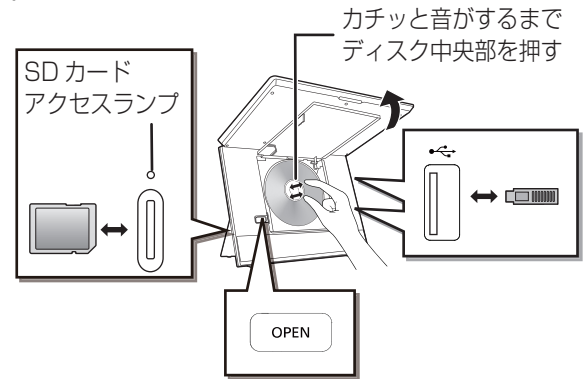
ソフトウェアを更新するには

① [スタート] を押す
② [▲][▼][◀][▶] で「設定」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で「初期設定」を選び、[決定] を押す
④ [▲][▼] で「設置」を選び、[決定] を押す
⑤ [▲][▼] で「ソフトウェア更新」を選び、[決定] を押す
⑥ [▲][▼] で「ソフトウェア更新の実行」を選び、[決定] を押す

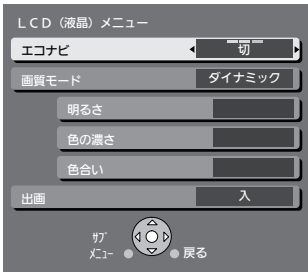
ソフトウェアの更新中は他の操作はできません。
また、故障の原因となりますので、以下の操作は行わないでください。
－本機の電源を切る
－電源プラグをコンセントから抜く

● ソフトウェアの更新が完了すると、本機が再起動され、下記の画面が表示されます。

● ソフトウェアの更新は「ソフトウェア更新」を選ぶことで実行できます。(➜ 42)
● ソフトウェアの更新に失敗した場合や本機がインターネットに接続されていない場合は、当社ホームページから最新のソフトウェアをパソコンにダウンロードすることができます。
CD-R にコピーした後、本機に入れることでソフトウェアを更新することができます。
http://panasonic.jp/bdplayer/
ソフトウェアのバージョンを確認するには (➜ 42「ソフトバージョン情報」)
● 更新は数分かかります。お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。
● 本機の電源を入れたときに最新のソフトウェアかどうかの確認を行わない場合は、「ソフトウェアの自動更新確認」(➜ 42) を「切」に設定してください。

ディスク・SD カード・USB 機器を入れる

● メディアを正しい向きに挿入してください。
● SD カードアクセスランプが点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体の故障やメディアの破壊防止のため、点滅中に電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。
● SD カードを取り出すには、SD カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出してください。
● 当社製機器と USB 接続ケーブルで接続した場合、接続機器側の設定を行ってください。

液晶画面の映像を調整する

1 LCDメニュー **を押す**

2 **[▲][▼][◀][▶] で設定を変える**

- カッコ内のアルファベットは、「外部入力」選択時の表示です。

エコナビ (ECO NAVI)※1	「画質モード」の設定と本機の明るさセンサー (➜ 6) が感知する周囲の明るさに応じて、液晶の明るさを自動で調整し、電力の消費を防ぎます。 ●「入（表示あり）」（ON1）を選んだ場合、自動調整するたびに、画面左下に省電力の状態が数秒間表示されます。葉マークが多いほど、電力の消費は少なくなります。 ECO NAVI 明るさオート
画質モード **(PICTURE)** 画質を調整します。	**スタンダード（STANDARD)** 標準 **ダイナミック (DYNAMIC)** 明暗がはっきりした画質 **ナイト (NIGHT)** 暗い場所での使用に適した画質 **ユーザー (USER)** さらに画質を調整できます。 **－明るさ（BRIGHT)** ※1 **－色の濃さ（COLOR)** ※1 **－色合い (TINT)** ※1
出画 「外部入力」以外または「フォトフレーム」以外を選択時のみ	「切」にすると画面左下に画面消去マークが表示され、画面には何も表示されなくなります。
MONITOR 「外部入力」選択時のみ	NORMAL 4:3 の映像を見たいとき FULL 16:9 の映像を見たいとき

※ 1「フォトフレーム」以外を選択時のみ

出画「切」から「入」に戻すには

[LCD メニュー]、[サブメニュー]、[モード] または [スタート] を押す

設定を終了するには

[LCD メニュー] または [戻る] を押す

- 「外部入力」または「フォトフレーム」選択時は、省電力の状態（葉マーク）は表示されません。

設置

スタート画面について

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。

[▲][▼][◀][▶] で項目を選び、決定 を押す

- メディアを挿入すると、そのメディアのコンテンツ選択画面が表示されます。
- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

A 項目

項目		説明
テレビ		(➜ 21)
ディスク SD USB		メディアを再生します。 (➜ 24、28、29) ● 複数のコンテンツが記録されている場合は、コンテンツの種類やタイトルを選択してください。 ● AVCHD と JPEG が混在する SD カードを日付順に再生するには、「撮影日を選択」を選んでください。
テレビでネット		(➜ 31)
お部屋ジャンプリンク		(➜ 32)
フォトフレーム		(➜ 27)
外部入力		(➜ 13)
設定	初期設定	(➜ 38)
	放送設定	(➜ 36)
	放送メール / 情報	(➜ 42)
	LCD (液晶) メニュー	(➜ 19)
	SD カード管理	(➜ 26)
	フォトフレーム設定	(➜ 27)
	壁紙設定	スタート画面の背景を変更します。

B アイコン

アイコン	説明
	放送メールあり (➜ 42)
	ネットワーク接続確認中（LAN ケーブル）
	ネットワーク通信中（LAN ケーブル）
	ネットワーク非接続（LAN ケーブル）
	ネットワーク接続確認中（無線 LAN）
	ネットワーク通信中（無線 LAN） ● 本数が多いほど通信状態は良好です。
	ネットワーク非接続（無線 LAN） ● 無線 LAN アダプターに異常が発生している場合にも表示されます。
	バッテリーパックの残量 (➜ 12)
	AC アダプター使用中

C 時刻表示

D 現在選択されているメディアまたは機能

スタート画面を表示するには

[スタート] を押す

時刻を合わせるには

「時刻合わせ」(➜ 42) を設定する

- メディアによって表示される項目は、異なります。
- テレビ放送を受信した場合、時刻は自動的に設定されます。

テレビ放送を見る

準備

- アンテナの準備をする (➜ 10)

1 モード を押して、「TV」を選ぶ

電波の受信レベルに応じて地上デジタル放送・ワンセグのいずれかが表示されます。

2 1 〜 12 または チャンネル を押して、チャンネルを選ぶ

画面に表示が出ます (数秒後に消えます)。

電波状態表示
本数(3本まで)が多いほど、受信状態は良好です。

見ている番組の情報を表示するには

[画面表示] を押す

- 押すごとに切り換わります。

- 屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりします。場所を変えて試してください。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- ワンセグ視聴時は利用できません。

1 データ放送のある番組を選局し、データ を押す

2 [▲][▼][◀][▶] で見たい項目を選び、決定 を押す

例）

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や数字ボタンで操作してください。

データ画面を消すには

[データ] を押す

■ 文字入力画面が表示された場合

文字入力欄にカーソルを移動させると、自動的に画面キーボードを表示します。

キーボードの表示に従って文字を入力します。

- **データ放送の番組の中には、番組独自のキーボードを表示する場合があります。その場合は、画面の指示に従ってください。**

漢字や記号を入力するには

① 「かな」を選び、文字を入力する
（記号を入力する場合、「きごう」と入力する)

② [▲][▼] で変換候補を選び、[決定]を押す

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。

設置

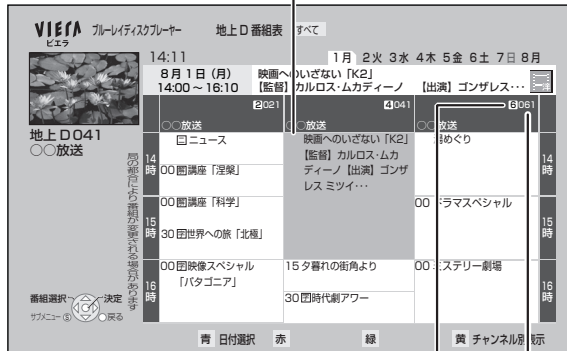
視聴

他の方法で選局する

番組表から選局する

1 番組表 ◯ **を押す**

例：全チャンネル表示時

選択中の番組

リモコンの数字ボタン番号

放送局の 3 けたチャンネル番号

2 **[▲][▼][◀][▶] で放送中の番組を選び、** 決定 **を押す**

3 **「今すぐ見る」を選び、** 決定 **を押す**

■ 別の日の番組表を表示する

- 地上デジタル放送視聴中、全チャンネル表示時のみ

[|◀◀] または [▶▶|] を押す

- 下記手順で表示することもできます。

① **[青]** を押す

② **[▲][▼]** で日付を選び、**[決定]** を押す

■ チャンネル別の番組表を表示する

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

- 地上デジタル放送視聴中のみ

[▲][▼][◀][▶] で表示したいチャンネルの番組を選び、[黄] を押す

全チャンネル表示に切り換えるには

[黄] を押す

別のチャンネルを表示するには

① **[青]** を押す

② **[▲][▼]** でチャンネルを選び、**[決定]** を押す

■ 表示設定を変える

① 番組表表示中に **[サブメニュー]** を押す

② **[▲][▼]** で項目を選ぶ

③ **[◀][▶]** で設定を変更する

放送切換	お好み番組表 (➜ 23) に切り換えます。
表示チャンネル数 ● 全チャンネル表示時のみ	1 画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ● チャンネル別表示時のみ	1 画面に表示する日数を変更します。
表示対象	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている 1～36 までのチャンネルを表示 ● 番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

設定を終了するには

[戻る] を押す

- 本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。
- 短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。
- 番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、**[決定]** を押すと表示されます。（数分かかることもあります）
- テレビ放送視聴中は、視聴中のチャンネルの番組表を自動的に受信します。
- 番組表は、1 つのチャンネルにつき地上デジタル放送は最大 8 日分、ワンセグは最大 10 番組まで表示されます。
- AC アダプターを接続した状態で電源「切」にすると、最新の番組表を自動的に受信します。内蔵アンテナをお使いの場合は、アンテナを立てておいてください。番組表の受信には数分間かかります。
- 本機は G ガイドの受信には対応していません。

お好みチャンネルから選局する

よく見るチャンネルを登録したリストから選局することができます。お好み番組表としても表示できます。

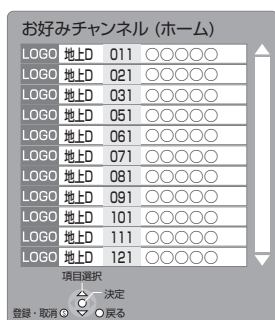
- 登録したリストは「ホーム」「おでかけ」の 2 種類に保存できるので、使用場所により使い分けると便利です（それぞれ 24 チャンネル登録可能）。

1 視聴中に、フレームモード/お好みチャンネル ◯ を押す

例：「ホーム」選択時

お好みチャンネル（ホーム）

LOGO	地上D	011	○○○○○
LOGO	地上D	021	○○○○○
LOGO	地上D	031	○○○○○
LOGO	地上D	051	○○○○○
LOGO	地上D	061	○○○○○
LOGO	地上D	071	○○○○○
LOGO	地上D	081	○○○○○
LOGO	地上D	091	○○○○○
LOGO	地上D	101	○○○○○
LOGO	地上D	111	○○○○○
LOGO	地上D	121	○○○○○

項目選択　決定
登録・取消 Ⓢ　戻る

2 [▲][▼] で放送局を選び、決定 を押す

「ホーム」「おでかけ」を切り換えるには
(➜ 右記)

■ リストを編集する

① 番組視聴中に **[フレームモード / お好みチャンネル]** を押す
- 「取消」する場合は、**[▲][▼]** で取り消したいチャンネルを選んでください。

② **[サブメニュー]** を押す
③ **[▲][▼]** で設定項目を選び、**[決定]** を押す
④ **[◀][▶]** で設定内容を選び、**[決定]** を押す

登録	視聴中のチャンネルを登録します。
取消	選択したチャンネルを取り消します。

- 表示されるチャンネルの順番を変更する場合は、チャンネルをすべて取り消し、希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定やチャンネル設定を行うと、登録した内容は取り消されます。

視聴中のいろいろな操作

放送や内容によっては機能しないものもあります。

音声を切り換える

音声 ▭ を押す

押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

視聴中の便利な機能

1 サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼] で項目を選び、決定 を押す
- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

スタート画面	(➜ 20)
番組表	(➜ 22)
お好みチャンネル表示	(➜ 左記)
地上 D/ ワンセグ切換	●「地上 D/ ワンセグ 自動切換」を選ぶと、電波の受信レベルに応じて地上デジタル放送・ワンセグのいずれかに切り換わります。
画面表示	(➜ 21)
再生設定	(➜ 34)
その他の機能へ	**LCD (液晶) メニュー (➜ 19)** **音声切換 (➜ 左記)** **画面モード切換** 画面の上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。 **LCD ボタンライト設定** 本体の基本操作ボタンの点灯を入 / 切します。 **デジタル放送メニュー** 放送内容などの設定を変更します。 ●「枝番選局」を選ぶと、同じチャンネルに複数の放送が受信できた場合の放送を選局できます。 ●アンテナレベル表示中に **[決定]** を押すと、各チャンネルの受信状況を確認することができます。 **ホーム / おでかけ切換** 「お好みチャンネル」のリストを切り換えます。 ●「おでかけ更新」を選ぶと、使用場所に応じたリストを登録・更新することができます。 ●チャンネルの順番を入れ替えるには **(➜ 36)** **放送設定 (➜ 36)**

- 操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。
- 他のテレビとの接続時に「画面アスペクト」(➜ 40) を「4:3 パン&スキャン」または「4:3 レターボックス」にしている場合、「画面モード切換」の「ズーム」は効果がありません。

映像を再生する

BD DVD SD

1 メディアを入れる

- メニュー画面が表示された場合は、[▲][▼][◀][▶] で項目を選び、[決定] を押してください。

2 [▲][▼] でタイトルを選び、決定 を押す

■ メニュー画面を表示する

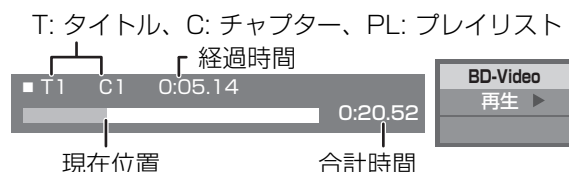
トップメニュー / 再生一覧 / ポップアップメニューを表示することができます。

[ポップアップメニュー / 再生一覧] を押す

[▲][▼][◀][▶] で項目を選び、[決定] を押してください。

■ 再生状態を確認する

再生中に、[画面表示] を押す

現在の再生状態の情報を表示します。
押すごとに切り換わります。
例）BD ビデオ

- メディアやその内容によっては、画面の表示が異なったり、メニュー画面などが表示されない場合があります。
- ハイビジョン動画（AVCHD）とハイビジョン画質の番組が混在したディスクの場合、ハイビジョン動画（AVCHD）再生時は「AVCHD 優先モード」を「入」に、ハイビジョン画質の番組再生時は「切」にしてください。(➜ 38)
- パソコンでメディアにドラッグ＆ドロップやコピー＆ペーストした AVCHD や MPEG2 は再生することができません。

再生中のいろいろな操作

メディアや内容によっては機能しないものもあります。

停止

[■] を押す

停止位置を記憶します。

続き再生メモリー機能

[▶]（再生）を押すと停止位置から再生が始まります。

- 記憶された停止位置は下記の場合、解除されます。
  – [■]（停止）を数回押した場合
  – ディスクふたを開けた場合
  – 電源「入」時に、バッテリーパックが外れたり、AC アダプターが抜けるなどで電源が切れた場合
- **BD-J が含まれる BD ビデオは、続き再生メモリー機能が働きません。**

一時停止

[❚❚] を押す

- もう一度押す、または [▶]（再生）を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し / スロー再生

早送り・早戻し

再生中に [◀◀ スロー] [▶▶ スロー] を押す

スロー再生

一時停止中に [◀◀ スロー] [▶▶ スロー] を押す

- 押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。（5 段階）
- [▶]（再生）を押すと、通常再生に戻ります。
- MP3/ その他の音楽 : 早送り・早戻しは一段階の速度のみ働きます。音声は出ません。
- BD ビデオ /AVCHD: スロー再生は送り方向 [▶▶] のみ働きます。

スキップ

再生中または一時停止中に [|◀◀] [▶▶|] を押す

押した回数だけタイトル、チャプター、またはトラックを飛び越します。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に [◀] (◀❚❚) または [▶] (❚❚▶) を押す

- 押し続けると連続してコマ送り（戻し）します。
- [▶]（再生）を押すと、通常再生に戻ります。
- BD ビデオ /AVCHD：コマ送り [▶] (❚❚▶) のみ働きます。

音声を切り換える

音声 を押す

音声言語などを変更することができます。

再生時の便利な機能

1 サブメニュー Ⓢ **を押す**

2 **[▲][▼][◀][▶] で項目を選び、決定 を押す**

● さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

「再生一覧」画面表示中の機能

内容確認	番組情報 (記録日など) を表示します。
チャプター一覧へ	チャプターを選びます。
プレイリスト一覧へ	プレイリストを選びます。
番組一覧へ	タイトルを選びます。
スライドショー開始	選択した日付に撮影された動画 (AVCHD) および写真を連続して再生します。
スライドショー設定	**再生モード** 再生方法を変更します。 **写真表示間隔** 写真の表示間隔を変更します。 **リピート再生** スライドショーを繰り返します。 **写真 BGM (音楽 CD)** スライドショー再生中、音楽 CD を BGM として流すことができます。

再生時の機能

再生操作パネル	早送り・早戻し、停止などの操作ができます。
トップメニュー	トップメニューを表示します。
ポップアップメニュー	ポップアップメニューを表示します。
メニュー	メニューを表示します。
画面表示	(➜ 24)
再生設定	(➜ 34)
スタート画面	(➜ 20)
その他の機能へ	LCD (液晶) メニュー (➜ 19) **音声切換 (➜ 左記)** **画面モード切換** 画面の上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。 **LCD ボタンライト設定** 本体の基本操作ボタンの点灯を入 / 切します。

● 操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。
● 本機の状態やメディア内のコンテンツによって、表示される項目は異なります。
● 画素数が大きい写真のスライドショー再生は、表示間隔が長くなることがあります。設定を変更しても、短くなりません。
● 動画再生中は、BGM は流れません。
● 再生するメディアやその内容によっては、「画面モード切換」が働かない場合があります。
● 「画面アスペクト」(➜ 40) が「4:3 パン&スキャン」または「4:3 レターボックス」に設定されている場合、「画面モード切換」の「ズーム」は効果がありません。

BD-Live 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむ

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただき、お楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

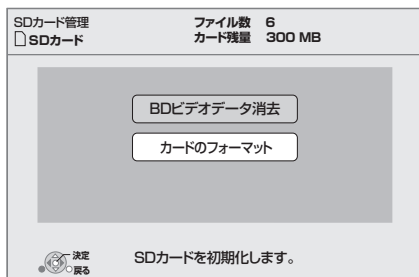
1 ネットワーク接続と設定をする
(➜ 14 ～ 17)

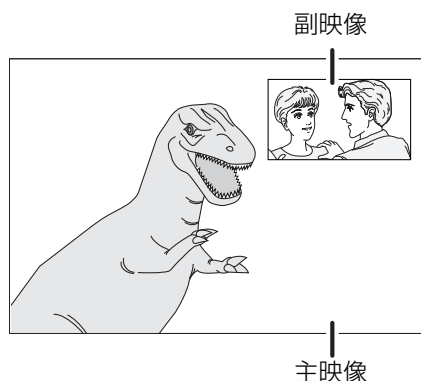
2 1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる

3 ディスクを入れる

■ SD カードのフォーマット / データの消去

SD カードに記録されたデータが不要になった場合は、下記の操作で削除することができます。

① SD カードを入れる
② **[スタート]** を押す
③ **[▲][▼][◀][▶]** で「設定」を選び、**[決定]** を押す
④ **[▲][▼]** で「SD カード管理」を選び、**[決定]** を押す
⑤ **[▲][▼]** で「ＢＤ ビデオデータ消去」または「カードのフォーマット」を選び、**[決定]** を押す

⑥ **[◀][▶]** で「はい」を選び、**[決定]** を押す
⑦ **[◀][▶]** で「実行」を選び、**[決定]** を押す

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像を表示するには
「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定する (➜ 34)

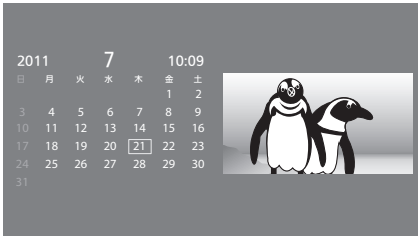
- インターネットに接続してBD-Live コンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live をお楽しみいただくために、本機で SD カードをフォーマットすることをおすすめします。
ただし、フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことができません。
- ディスクによっては、「BD-Live インターネット接続」の設定を変更する必要があります。(➜ 38)
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、プレーヤーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。
- 早送り・早戻し / スロー再生またはコマ送り・コマ戻し中は、主映像のみ再生されます。
- 「BD ビデオ副音声・操作音」が「切」(➜ 39) の場合は副音声は再生されません。

フォトフレームとして動画や写真を再生する

SD

本機をフォトフレーム（写真立て）として、SDカードに記録された動画（AVCHD）および写真を連続して再生することができます。

1 **を押す**

2 **SD カードを入れる** (➜ 18)

☞ **次の写真または動画を表示するには**
[▶▶|] を押す

☞ **再生を停止するには**
[■](停止) を押す

☞ **日付・時刻を変更するには**
「時刻合わせ」(➜ 42) を設定する

- テレビ放送を受信した場合、日付・時刻は自動的に設定されます。
- 動画の音声は出ません。
- 動画アスペクトは 16:9 に固定されます。
- 写真によっては周囲が消える場合があります。
- テレビとの接続時 (➜ 13) は、長時間再生すると接続したテレビの画面が焼き付けを起こす場合があります。長時間再生する場合は、テレビと接続しないでください。

表示を切り換える

日付・時刻と動画や写真表示の組み合わせを選択するには

時計/カレンダー **を押す**

[フレームモード](➜ 下記) の設定に従い、押すごとに切り換わります。

背景の色やデザインを切り換えるには

フレームモード/お好みチャンネル **を押す**

押すごとに切り換わります。

- 「ブラック」または「アイボリー」選択時は、時計表示はアナログです。
- 「ホワイト」または「レッド」選択時は、時計表示はデジタルです。

フォトフレームの設定を変更する

1 スタート **を押す**

2 **[▲][▼][◀][▶] で「設定」を選び、決定 を押す**

3 **[▲][▼] で「フォトフレーム設定」を選び、決定 を押す**

4 **[▲][▼] で項目を選び、[◀][▶] で設定を切り換える**

5 **設定終了後、[▲][▼][◀][▶] で「確定」を選び、決定 を押す**

項目	説明
再生モード	再生するデータを選びます。
写真表示間隔	表示間隔を選びます。
BGM（音楽 CD）	動画や写真再生中、音楽 CD を BGM として流すことができます。
表示形式	日付・時刻と動画や写真表示の組み合わせを設定します。
フレームモード	背景の色やデザインを設定します。
フォトフレームタイマー設定	設定した時刻に電源を入 / 切し、フォトフレーム再生を開始・停止します。 **[決定] を押して、さらに設定する** ●「フォトフレームオンタイマー」は AC アダプター接続時のみ働きます。

- 操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。
- 「フォトフレームオフタイマー」と「オフタイマー」(➜ 7) の両方を設定している場合、早い方の終了時刻に電源が切れます。

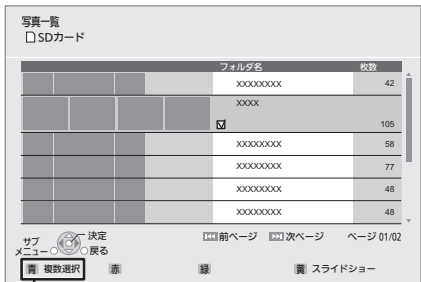
写真を再生する

BD DVD CD SD USB

(対応メディア：BD-RE、DVD-RAM/-R/-R DL、CD-R/RW、SD カード、USB 機器)

1 メディアを入れる

- メニュー画面が表示された場合は、[▲][▼] で項目を選び、[決定] を押してください。

2 [▲][▼] でフォルダを選び、決定 を押す

スライドショー再生するフォルダや写真を複数選択することができます。

3 [▲][▼][◀][▶] で写真を選び、決定 を押す

前後の写真を表示するには

[◀][▶] を押す

画面を消すには

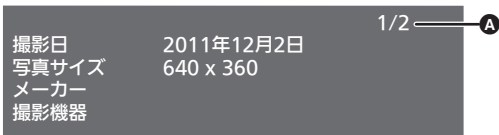
[ポップアップメニュー / 再生一覧] を押す

■ 写真情報を表示する

写真を再生中に [画面表示] を押す

押すごとに表示は切り換わります。

撮影日	2011年12月2日
写真サイズ	640 x 360
メーカー	
撮影機器	

1/2 — Ⓐ

Ⓐ フォルダ内の写真の番号 / フォルダ内の写真の合計枚数

写真再生時の便利な機能

1 サブメニュー S を押す

2 [▲][▼][◀][▶] で項目を選び、決定 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

「写真一覧」画面表示中の機能

スライドショー	**スライドショー開始** 一定の時間間隔で 1 枚ずつ写真を表示します。 **表示間隔** 表示間隔を変更します。 **表示効果** 表示効果を設定します。 **リピート再生** スライドショーを繰り返します。 **BGM** スライドショー再生中に、USB 機器の MP3 または音楽 CD を BGM として再生できます。 **BGM シャッフル** BGM を順不同に再生します。

再生時の機能

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。
画面表示	写真情報を表示します。
右９０゜回転	写真を回転します。
左９０゜回転	
壁紙登録	写真をスタート画面の壁紙に設定します。(➜ 20)
スタート画面	(➜ 20)
その他の機能へ	**LCD (液晶) メニュー (➜ 19)** **LCD ボタンライト設定** 本体の基本操作ボタンの点灯を入 / 切します。

設定を終了するには

[戻る] を押す

- 操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。
- 本機の状態やメディア内のコンテンツによって、表示される項目は異なります。
- 画素数が大きい写真のスライドショー再生は、表示間隔が長くなることがあります。設定を変更しても、短くなりません。
- 本機に音楽 CD と USB 機器を挿入した場合、BGM は音楽 CD が選ばれます。
- “ ⊠ ” の表示になっている写真は、本機では再生できません。

音楽を再生する

DVD CD USB

(対応メディア：DVD-R/-R DL、音楽 CD、
CD-R/RW、USB 機器)

1 メディアを入れる

- メニュー画面が表示された場合は、[▲][▼]で項目を選び、[決定] を押してください。

2 [▲][▼] で曲を選び、決定 を押す

「♪」は現在再生中の曲を示しています。

別のフォルダの曲を再生する

1 「曲一覧」画面を表示中に サブメニュー S を押す

2 [▲][▼] で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

- 再生できる MP3 が入っていないフォルダは選べません。

再生

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）
（HDAVI Control™）とは

本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。
各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。

準備

① 「ビエラリンク制御」を 「入」にする (➜ 40)
(お買い上げ時の設定は「入」です)
② 接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク制御が動作するように設定する
③ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を HDMI 入力に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する
（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

入力自動切換え / 電源オン連動

下記の操作を行うと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。
－本機で再生を開始したとき
－メニュー画面が表示される操作を行ったとき
（**[スタート]** や **[ポップアップメニュー / 再生一覧]** を押したときなど）

電源オフ連動

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビ (ビエラ) とアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビ (ビエラ) の電源を切ると本機の電源も切れます。ただし、接続したテレビ (ビエラ) がビエラリンク (HDMI)Ver.2 以降対応の場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

① 音楽再生中に **[サブメニュー]** を押す
② **[▲][▼]** で「TV のみ電源 OFF」を選び、**[決定]** を押す

☞ 音楽の再生を止めるには
[戻る] を押す

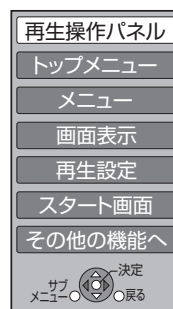
テレビのリモコンで本機を操作

ビエラリンク (HDMI)Ver.2 以降に対応したビエラのみ

テレビのリモコンで、本機の操作ができます。

1 サブメニュー Ⓢ **を押す**
2 **[▲][▼] で項目を選び、**
決定 **を押す**
- 「再生操作パネル」を選ぶと、早送り・早戻し、停止などの操作ができます。

例）

再生操作パネル
トップメニュー
メニュー
画面表示
再生設定
スタート画面
その他の機能へ
サブメニュー 決定 戻る

📖
- BD ビデオまたは DVD ビデオのトップメニュー表示中は **[サブメニュー]** を押しても動かない場合があります。
- 音楽再生時は「再生操作パネル」は表示されません。画面表示に従って操作してください。
- ビエラリンク (HDMI)Ver.4 以降に対応したビエラと接続している場合、「プレーヤー」の項目を選択後、本機のスタート画面を表示することができます。
- お使いになれるボタンはテレビにより異なります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビのリモコンの対応していないボタンを押すと、本機の操作が中断されることがあります。
- 本機の電源「切」時に AC アダプターを接続している場合、テレビのリモコンを操作することで自動的に本機の電源が入ります。
- 本機はビエラリンク (HDMI)Ver.5 に対応しています。
ビエラリンク (HDMI)Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2010 年 12 月現在）
- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の説明書をご確認ください。
- お使いのテレビやアンプがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは、機器にビエラリンク (HDMI)のロゴマーク (➜ 下記) が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

インターネットを楽しむ

本機では、インターネットを利用して動画共有サイトやビデオコミュニケーションなどのサービスを楽しむことができます。

準備

ネットワーク接続と設定をする。(➜ 14 ～ 17)

1 [スタート] **を押す**

2 **[▲][▼][◀][▶]で「テレビでネット」を選び、[決定] を押す**

「テレビでネット」のポータルサイト画面が表示されます。

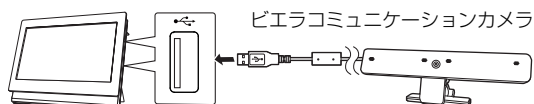
- ビデオコミュニケーションを利用する場合は、[S] を押しても開始できます。

3 **[▲][▼][◀][▶]で項目を選び、[決定] を押す**

- 操作方法は画面の指示に従ってください。

サービスを終了するには

[スタート] を押す

- 音声がひずむ場合は、「テレビでネット自動音量調整」を「切」に設定してください。(➜ 41)
- 低速のインターネットサービスをお使いの場合、映像が正しく表示されない場合があります。「テレビでネット」使用時は、6 Mbps の高速インターネットサービスをおすすめします。
- ソフトウェア更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。(➜ 18)
  更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。
  あらかじめご了承ください。
- **ビデオコミュニケーションについて**
  ビデオコミュニケーション（Skype™）を利用するには、別売のビエラコミュニケーションカメラ（TY-CC10W) を接続してください。

  – カメラを本機の画面に取り付けて使用しないでください。
  – 音声がひずむ場合は、音量を下げるか、本機とカメラの位置を離してください。
  – 着信があったときなど、着信ランプ (➜ 6) が点滅します。（バッテリーパックのみで使用中の場合は点滅しません。）
  – 詳細情報は、当社ホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/bdplayer/

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。
制限機能を使用する場合は、「テレビでネット視聴制限」を「入」に設定してください。(➜ 41)

- 「テレビでネット」を利用するには、暗証番号の入力が必要になります。

再生

別の機器のコンテンツを楽しむ（お部屋ジャンプリンク）

当社製ディーガなど DLNA 対応機器に保存された映像や写真などを、本機から操作して再生することができます。

- 対応するディーガについては、当社ホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/bdplayer/

準備

① ネットワーク接続と設定をする (➜ 14 〜 17)
② 接続機器のネットワーク設定をする

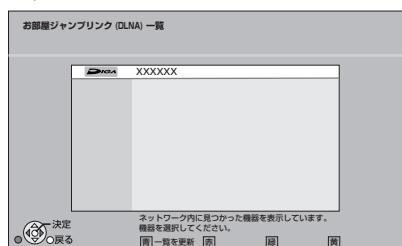
- ディーガに接続している場合は、ディーガ側の「お部屋ジャンプリンク (DLNA)」または「ビエラリンク（LAN)」で、本機を登録してください。
  （本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、右記の手順 1 〜 3 の操作を行ってください。）
- ディーガなど接続機器の設定や操作方法の詳細については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

1 **[スタート] を押す**

2 **[▲][▼][◀][▶] で「お部屋ジャンプリンク」を選び、[決定] を押す**

ネットワーク接続している機器の一覧が表示されます。

- [青] を押すと、一覧を更新することができます。

例）

3 **[▲][▼] でディーガなどを選び、[決定] を押す**

選んだ機器の画面が表示されます。
以降の操作については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

- コンテンツによっては、[サブメニュー] や [再生設定] を押すと便利な機能をお使いいただけます。

画面を消すには

[スタート] を押す

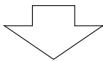
- 不正アクセス予防のため、ルーターのセキュリティー設定を確認してください。
- 表示されるメニュー構造は、接続機器によって異なります。操作を繰り返してコンテンツを選択してください。
- コンテンツや接続機器によっては、再生できないことがあります。
- 本機と DLNA サーバー間の接続環境によっては、再生が途切れたり、再生できなかったりすることがあります。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。
- 接続したディーガから本機を再生することはできません。
- ディーガと接続している場合、「字幕の設定」の「字幕」を「オン」にすると、字幕を表示することができます。(➜ 37)

ドアホンやセンサーカメラからの映像を表示する

準備

- ネットワーク接続と設定をする。(➜ 14 ～ 17)
- ドアホン・センサーカメラの接続設定をする。(➜ 17)

ドアホンやセンサーカメラからの通知が表示されたら、決定 を押す

例）

画面を消すには

[戻る] を押す

- ドアホン・センサーカメラからの映像を表示している場合は、テレビ画面に切り換わります。
- [戻る] を押さない場合、最大 3 分以内に表示は消えます。

- コマ送りの画像（連続静止画）を表示します。音声は出ません。
- ネットワークの状態や設定によって正常に動作しない場合があります。また、長時間続けて映像を表示した場合、映像が途中で止まることがあります。
- 本機からの応答はできません。
- 通知の表示中は、[電源]、[戻る] および [決定] 以外の操作をすることはできません。
- 本機の電源を入れた直後は、通知や映像が表示されないことがあります。約 1 分（DHCP 機能付きのルーターを使用していないときは約 3 分）お待ちください。
- 電源「切」時または「外部入力」選択時は、機能が働きません。
- ドアホン側で応答したときは、ドアホンから送られてくる映像が消え、元の表示に戻ります。

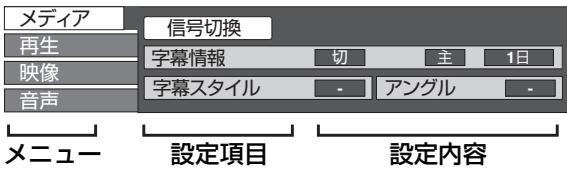
再生

信号切換や再生方法の設定などをする

1 [再生設定] を押す

例）BD ビデオ

メディア	信号切換		
再生	字幕情報	切	主 1日
映像	字幕スタイル	-	アングル -
音声			

メニュー　設定項目　設定内容

2 [▲][▼] でメニューを選び、[▶] を押す

3 [▲][▼][◀][▶] で設定項目を選び、[▶] を押す

4 [▲][▼] で設定内容を選ぶ

[決定] を押して設定変更を実行するものもあります。

設定を終了するには

[再生設定] を押す

- 本機の状態 (再生中、停止中など) またはメディアによっては、選択・変更できない項目があります。
- 言語については : (➜ 47)

メディア

信号切換

映像や音声などの信号を切り換えます。

- BD ビデオ再生時は、下記の設定を変更することができます。

主映像	**映像情報** 映像の記録方法を表示
	音声情報 音声や言語の種類を選択
副映像	**映像情報** 映像の入 / 切の選択や、映像の記録方法を表示
	音声情報 音声や言語の入 / 切を選択

映像情報

映像の記録方法を表示します。

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

字幕情報

字幕表示の入 / 切や、メディアによっては言語を選びます。

字幕スタイル

メディアに記録されている字幕スタイルを選びます。

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

(➜ 25「音声を切り換える」)

アングル

アングルを選びます。

- 「信号切換」に表示される「マルチビュー」とは、主番組と副番組の複数映像を持った番組です。
- メディアの特定のメニューでしか変更できないものもあります。(➜ 24)

再生

リピート

（経過時間が表示されるときのみ）
繰り返し再生の方法を選びます。

- メディアによりリピートの種類は異なります。
- 取り消すには、「切」を選んでください。

ランダム

順不同に再生します。

映像

画質選択

再生時の画質を選びます。

- 「ユーザー」を選ぶと、さらに画質を調整できます。**[▶]** で「詳細画質設定」を選んで、**[決定]** を押してください。
- 「3D NR」を選ぶと、背景部分に現れるノイズを除去し、奥行き感を出します。
（「24p 出力」**(➜ 40)** を「入」に設定時は、働きません。）
- 「Integrated NR」を選ぶと、モザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見られるもやのようなノイズを除去します。

プログレッシブ

プログレッシブ映像の最適な表示方法を選びます。

- 「Auto」でぶれが生じる場合は、「Video」を選んでください。

24p

DVD ビデオを再生する場合、24 p で出力するかしないかを設定します。「入」にすると、より映画らしい動きで再生することができます。

- HDMI 接続したテレビに働きます。
- 「24p 出力」**(➜ 40)** が「入」の場合のみ選択することができます。
（本機の画面には「24p HDMI OUTPUT」のみ表示されます。）

音声

シネマボイス

センターチャンネルの音量を大きくして、セリフを聞き取りやすくします。

- HDMI 出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ使用できます。**(➜ 39)**

音質モード

本機から出力される音声の音質を選びます。

- HDMI 出力には働きません。

スタンダード	全音域のバランスがよい
ニュース	人の声が聞きやすい
ミュージック	メリハリ感が強調される

設定

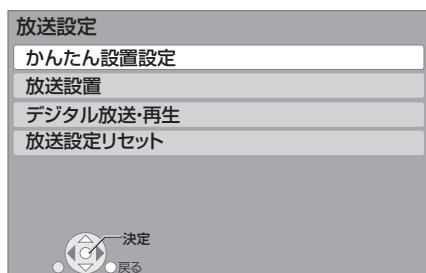
放送設定を変える（放送設定）

1 [スタート] **を押す**

2 **[▲][▼][◀][▶] で「設定」を選び、[決定] を押す**

3 **[▲][▼] で「放送設定」を選び、[決定] を押す**

4 **[▲][▼] でメニューを選び、[決定] を押す**

5 **[▲][▼] で設定項目を選び、[決定] を押す**

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 **[▲][▼][◀][▶] で設定内容を変更する**

- 操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。

かんたん設置設定

➜ 15

放送設置

チャンネル設定

「地上デジタル」を選び、[決定] を押す

初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

① [▲][▼] で修正したいチャンネルを選び、[決定] を押す

② [▲][▼] で「地上 D 設定」または「ワンセグ設定」を選び、[◀][▶] で修正する

チャンネルの順番を入れ換えるには

① チャンネル一覧画面表示中に [緑] を押す

② [▲][▼] で入れ換えをしたい行を選び、[決定] を押す

③ [▲][▼] で入れ換え先の行を選び、[決定] を押す

④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

- 「地域設定削除」を選ぶと、お買い上げ時の状態に戻ります。

受信設定

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるようアンテナの角度や本機の位置を変えてください。

- 「物理チャンネル選択」を選び、物理チャンネルを入力すると、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。
- アンテナレベルの目安は 44 以上です。
- 電波が強すぎて映像が不安定になる場合は「内蔵アンテナ受信感度」を「通常感度」に設定してください。
- 外部アンテナ接続時 (➜ 10) は、アンテナの説明書をご覧ください。

---

miniB-CAS カードテスト

miniB-CAS カードの動作を確認します。

物理チャンネルについて

放送局ごとに割り当てられている地上デジタル放送のチャンネル（13 CH ～ 62 CH）です。

デジタル放送・再生

字幕の設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせ (文字スーパー) などを表示させるための設定です。

- 設定しても番組によって無効になる場合があります。

選局対象

[**チャンネル** ∧∨] を押して順送りできるチャンネルを設定することができます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されている 1 ～ 36 までのチャンネルを選局します。
- ワンセグ放送視聴時では、「テレビ」、「データ」は「すべて」と同じです。

放送設定リセット

個人情報リセット

初期設定 (➜ 38 ～ 42) と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。

また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）も消去します。

廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

本機の設定を変える（初期設定）

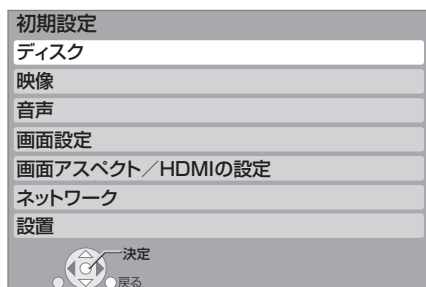
必要に応じて設定を変更してください。設定内容は、本機の電源を切っても保持されています。

1 スタート を押す

2 **[▲][▼][◀][▶] で「設定」を選び、決定 を押す**

3 **[▲][▼] で「初期設定」を選び、決定 を押す**

4 **[▲][▼] でメニューを選び、決定 を押す**

5 **[▲][▼] で設定項目を選び、決定 を押す**

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 **[▲][▼][◀][▶] で設定内容を選び、決定 を押す**

- 操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。

暗証番号について

下記の項目の暗証番号は共通です。

暗証番号は忘れないでください。

- 「DVD-Video の視聴制限」(➜ 右記)
- 「BD-Video の視聴可能年齢」(➜ 右記)
- 「BD-Live インターネット接続」(➜ 右記)
- 「テレビでネット視聴制限」(➜ 41)

ディスク

DVD-Video の視聴制限

DVDビデオの視聴制限ができます。

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って**数字ボタン**で暗証番号（4 けた）を入力してください。

BD-Video の視聴可能年齢

年齢制限された BDビデオの視聴可能な下限年齢が設定できます。

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って**数字ボタン**で暗証番号（4 けた）を入力してください。

音声言語

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」を選ぶとディスクの最優先言語で再生します。
- 「その他＊＊＊＊」を選んだ場合は、**数字ボタン**で言語番号 (➜ 47) を入力してください。

字幕言語

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」を選ぶと、「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。
- 「その他＊＊＊＊」を選んだ場合は、**数字ボタン**で言語番号 (➜ 47) を入力してください。

メニュー言語

画面に表示される言語を選びます。

- 「その他＊＊＊＊」を選んだ場合は、**数字ボタン**で言語番号 (➜ 47) を入力してください。

BD-Live インターネット接続

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

- 「有効（制限付き)」が選ばれていると、BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可します。

AVCHD 優先モード

ハイビジョン画質の番組 (AVCREC) とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- 「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

映像

スチルモード
一時停止中の画像の表示方法が選べます。

オート	表示方法を自動的に設定
フィールド	動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき
フレーム	「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき

シームレス再生
番組と番組のつなぎ目などをなめらかに再生します。
- 「入」を選んだ場合でも、早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります。

音声

音声のダイナミックレンジ圧縮
「入」にすると、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声に対し、小音量でもセリフを聞き取りやすくする効果が働きます。
- 「オート」を選ぶと、Dolby TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力
[決定] を押して、さらに設定します。

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD
DTS
AAC
音声の出力信号を選びます。
- 上記のデコーダーを搭載していない機器と接続する場合は、「PCM」を選んでください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

BD ビデオ副音声・操作音
主音声と副音声をミックスして出力します。（操作音を含む）**(➜ 26)**
- 「切」を選ぶと、操作音・副音声は出力されません。

ダウンミックス
マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能を有する機器に接続するときは、「ドルビーサラウンド」を選んでください。
- 「デジタル出力」**(➜ 上記)** が「Bitstream」のときは、ダウンミックスの効果はありません。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  – AVCHD 再生時
  – BD ビデオ：副音声や操作音を含んでの再生時

画面設定

画面表示動作〔オート〕
操作状態を本機の画面に自動的に表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能
本機および接続したテレビの画面の焼き付きを低減するための設定です。
「入」に設定時、10 分以上操作を行わないと、再生一覧画面が自動的にスタート画面に切り換わります。
- 再生中や一時停止中などの操作中は働きません。
- フォトフレーム再生中 (➜ 27) は働きません。
- CD-DA 方式のデータや MP3 の再生一覧画面は、設定に関係なく、自動で他の画面に切り換わります。

画面アスペクト /HDMI の設定

画面アスペクト
本機および接続したテレビの画面に働きます。
4:3 テレビに接続して映像を見たいとき

4:3 パン&スキャン	16:9 の映像は、左右の切れた映像で表示（パン&スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します）
4:3 レターボックス	16:9 の映像は、上下に帯のある映像で表示

本機または 16:9 ワイド画面テレビに接続して映像を見たいとき

16：9	4:3 の映像は、4:3 の比率のまま画面中央に表示
16：9 フル	4:3 の映像は、左右に引き伸ばされて表示

HDMI 接続
[決定] を押して、さらに設定します。

HDMI 出力解像度
接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。
- 「オート」を選ぶと、接続した機器に適した解像度を自動で選択します。

24p 出力
24p とは、24 コマ / 秒で記録されたプログレッシブ（順次走査）方式です。
BD ビデオの映画ソフトなどの 24p 記録された素材を 24p 出力します。
- 24p 以外の素材は 60p で出力されます。

DVD ビデオを 24p 出力するには、この設定を「入」にして、「24p」(➜ 35) を「入」にしてください。

HDMI RGB 出力レンジ
RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効
- 「エンハンス」を選ぶと、映像の黒白が鮮明でないときに有効です。

HDMI 音声出力
音声を HDMI 端子から出力するかどうかを設定します。

ビエラリンク制御
ビエラリンクに対応した機器と HDMI ケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。
- この機能を使わないときは、「切」を選んでください。

コンテンツタイプフラグ
接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

ネットワーク

かんたんネットワーク設定 (➜ 15)

ネットワーク通信設定

[決定] を押して、さらに設定します。

LAN 接続形態

ネットワーク接続の方法を選びます。

無線設定

無線ブロードバンドルーターとの接続設定に進むことができます。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

接続設定

無線ブロードバンドルーターとの接続を行います。

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が 2.4 GHz の場合、通信速度を設定します。

- 「倍速モード （40MHz)」で通信を行うと、2 チャンネル分の周波数帯域を使うため、電波干渉が起こりやすくなる恐れがあります。そのためかえって通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

IP アドレス / DNS 設定

ネットワークの接続状態を確認したり、IP アドレスや DNS の設定を行うことができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

- 「接続速度設定」は「接続速度自動設定」が「切」時のみ有効です。

プロキシサーバー設定

プロキシサーバーの接続状態を確認したり、設定したりすることができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

テレビでネット設定 (➜ 31)

[決定] を押して、さらに設定します。

テレビでネット視聴制限

「テレビでネット」の視聴制限ができます。

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って**数字ボタン**で暗証番号（4 けた）を入力してください。

テレビでネット自動音量調整

コンテンツによって異なる音量を、自動的に標準の音量にします。

- コンテンツによっては、効果がない場合があります。
- 音声がひずむ場合は「切」に設定してください。

ドアホン・センサーカメラの接続設定

[決定] を押して、さらに設定します。

- 「ドアホン・センサーカメラ接続」を「入」にすると、「クイックスタート」(➜ 42) は自動的に「入」になります。
- 「ドアホン通知」または「センサーカメラ通知」を選び、「しない」を選ぶと、ドアホン単位またはセンサーカメラ単位で設定を解除できます。

MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

設定

設置

時刻合わせ
本機で表示される日付や時刻を設定します。
- テレビ放送を受信すると、自動的に設定されます。

クイックスタート
電源「切」状態からの起動を高速化します。
- AC アダプター接続時のみ働きます。(➜ 11)
- 「入」にすると、内部の制御部が部分的に通電状態になるため、「切」のときに比べて待機時消費電力 (➜ 46) が増えます。

省エネ / エコ設定
[決定] を押して、さらに設定します。

無操作電源 [切]
- メディア操作中

無信号電源［切］
- 「外部入力」選択中

「入」にすると、停止状態で約 15 分（バッテリーパック使用時は約 5 分）経過すると自動的に電源が切れます。

エコ充電
「入」にすると、バッテリーパックの充電を約 80 %に制御するため、バッテリーパックの消耗を防ぎます。

操作音
「入」にすると、本体ボタンによる操作時に操作音が出ます。

初期設定リセット
ネットワークや時刻、または視聴制限の設定を除き、初期設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。
- 放送設定の項目は変わりません。

ソフトバージョン情報
本機のソフトウェアや無線 LAN モジュールのバージョン情報などを表示します。

ソフトウェア更新
[決定] を押して、さらに設定します。

ソフトウェアの自動更新確認
本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに最新のソフトウェアのバージョンを確認することができます。

ソフトウェア更新の実行
手動でソフトウェアの更新ができます。

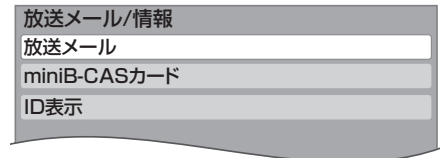
いろいろな情報を見る（放送メール/情報）

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

1 [スタート] を押す

2 [▲][▼][◀][▶] で「設定」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] で「放送メール / 情報」を選び、[決定] を押す

放送メール/情報
放送メール
miniB-CASカード
ID表示

4 [▲][▼] で項目を選び、[決定] を押す

放送メール

放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで保存）などがあります。

[▲][▼] で確認したいメールを選び、[決定] を押す
- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。
- メールの送信や返信はできません。

miniB-CASカード

miniB-CASカードの番号を表示します。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには
- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、症状が載っていないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 次のような場合は、故障ではありません

- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる
- 電源「入」時などに動作音がする
- 液晶画面 の 0.01 % の画素欠けや常時点灯する
- HDMI 接続時、本機の画面で映像の画質が低下する

■ 本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機のお手入れなどをするときは、電源を切ってから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ ソフトウェアを更新していますか？

- 映画ソフトの再生時などの動作の改善や、新機能の追加のために、当社は本機のソフトウェアを随時更新しています。(➜ 18)

■ 本機が操作を受けつけなくなったときは

① 本体の [**電源 ⏻/I**] を押し、電源を切る
- 切れない場合は、約 3 秒間押し続けると強制的に切れます。

② AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付ける

③ 本体の [**電源 ⏻/I**] を押し、電源を入れる

いろいろな操作

基本設定以外の設定をお買い上げ時の状態に戻す

➢「初期設定リセット」で「する」を選びます。(➜ 42)

お買い上げ時の設定に戻す

➢「個人情報リセット」で「はい」を選びます。(➜ 37)

自動的に電源が切れた

➢「無操作電源［切］」(➜ 42) またはオフタイマー機能が働いていませんか。(➜ 7)

➢ビエラリンク (HDMI)Ver.4 以降に対応のビエラと接続した場合、ビエラリンクの連動操作が働いていることがあります。詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

➢バッテリーパックの残量が少ない状態でメディアを再生した場合、バッテリー残量表示が点滅せずに電源が切れる場合があります。充電してから再生してください。(➜ 12)

充電できない（[CHG] ランプが点灯しない）

➢本機でお使いいただくことができないバッテリーパックです。
本機専用のバッテリーパックをお使いください。
(➜ 11)

充電しても再生時間が極端に短い

➢バッテリーパックの寿命です。
[充電回数：約 300 回 (エコ充電「切」時) または約 500 回 (エコ充電「入」時) が目安]

暗証番号を忘れた
視聴制限を解除したい

➢視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。メディアを本機から取り出した状態で、本体の [**サブメニュー**] と [**⏮**] を 5 秒以上押すと視聴制限を解除します。

各ボタン操作ができない

➢本体の基本操作ボタン (➜ 6) は、指で軽く触れてください。爪の先で押したり、手袋をはめた状態で押すと、反応しない場合があります。

USB 接続を正しく認識しない

➢USB を抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れなおしてください。

➢無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）に付属の延長用 USB ケーブル以外の USB 接続ケーブルや、USB ハブを使って USB 機器を接続した場合は、認識しないことがあります。

➢本機に USB 接続の HDD を接続する場合、HDD 付属の延長用 USB ケーブルをご使用ください。

映像

接続したテレビで映像が出ない、映像が乱れる
ハイビジョン映像で出力されない

➢「HDMI 出力解像度」を正しく設定してください。(➜ 40)

映像の上下左右に黒帯がついて再生される
画面サイズがおかしい

➢「画面アスペクト」を正しく設定してください。(➜ 40)

液晶画面

映像が出ない、映像が乱れる

➢ HDMI 接続時、本機の画面では画質が低下します。(➜ 13)

➢ 再生設定で「24p」を「入」にした場合、本機の液晶画面には「24p HDMI OUTPUT」のみ表示され、映像が映らなくなります。

映像の上下左右に黒帯がついて再生される
画面サイズがおかしい

➢「画面モード切換」を正しく設定してください。(➜ 23、25)

再生

ディスクの再生が始まらない、またはすぐに停止する

➢ ディスクが汚れていませんか。(➜ 5)

写真が正しく再生できない

➢ プログレッシブ JPEG など、パソコンで編集した写真は再生できないことがあります。

BD ビデオの BD-Live が再生できない

➢ SD カードがプロテクトされていませんか。(➜ 9)

➢ ネットワーク接続や設定は正しいですか。(➜ 14 ～ 17)

➢「BD-Live インターネット接続」を確認してください。(➜ 38)

➢ SDカードがSDカードスロットに正しく入っているか確認してください。(➜ 18)

フォトフレーム

画像や動画が表示されない

➢ パソコンなどで編集した写真または動画は再生できない場合があります。

ネットワーク

ネットワークに接続できない

➢ ネットワーク接続や設定は正しいですか。(➜ 14 ～ 17)

➢ 接続した機器の説明書や接続を確認してください。

DLNA 対応機器のコンテンツを再生できない

➢ 接続した機器側で本機が登録されていますか。

➢ すべてのコンテンツを再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

無線 LAN 接続をしているとき、DLNA 対応機器のコンテンツを再生できない、または再生が途切れる

➢ 無線ブロードバンドルーターとの接続が 802.11n (5 GHz) で、暗号化方式が「AES」になっているか、ご確認ください。
2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。

➢「無線設定」(➜ 41) の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、無線 LAN アダプターや無線ブロードバンドルーターの位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。（無線 LAN アダプターは、無線 LAN アダプターに付属の USB 延長ケーブルを使って調節してください）それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定 (➜ 15) を再度行ってください。

こんな表示が出たら

起動時や操作中に異常が起こった場合、本機のランプが点滅したり、本機の画面に以下のメッセージや数値が表示されます。

- 数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
- 下記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜ 54 ~ 55) へ修理を依頼してください。
  なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99 」などとお知らせください。

ランプの点滅

[CHG] ランプがはやく点滅

- バッテリーパックに異常が発生しました。電源を入れて画面の表示 (➜ 下記) をご確認ください。
- ソフトウェアの更新が正常に終了しませんでした。更新をやり直してください。(➜ 18)

[CHG] ランプがゆっくり点滅

- バッテリー残量が少なくなっています。
  (数分すると、電源が切れます)

画面の表示

ERROR U580

- バッテリーパックに異常が発生しました。
  お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」にご相談ください。(➜ 54 ~ 55)

ERROR U581

- 充電し続けましたが、何らかの理由で充電されていません。再度充電してください。

ERROR U582

- 暑いまたは寒い場所で充電しています。
  常温の場所で充電してください。

ERROR U583

- 本機でお使いいただくことができないバッテリーパックです。本機専用のバッテリーパックをお使いください。(➜ 11)

H □□、F □□または U □□ (□□は数字)

- 異常が発生しました。
  電源を一度、切／入してください。または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。

再生できません。

- 非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。(➜ 9)

本機では再生できません。

- 非対応の画像を再生しようとしています。
  (➜ 47)
- SD カードを入れ直してください。(➜ 18)

ディスクが入っていません。

- ディスクが裏返しになっていませんか。(➜ 18)

⃠ この操作はできません。

- 本機が操作を制限しています。
  例：BD ビデオ : 逆スローできません。

IP アドレスが設定されていません。

- 「IP アドレス / DNS 設定」で「IP アドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。(必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください。)(➜ 41)

セキュリティーが低い設定になっています。無線アクセスポイントの設定の変更をおすすめします。

- 安全のために、無線 LAN の暗号化方式を「AES」にしてください。DLNA 対応機器から映像などを再生する場合は、暗号化が必要になります。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源
DC 12 V（DC IN 端子)/
DC 7.2 V（バッテリー端子)

消費電力 （付属の専用 AC アダプター使用時）
動作時：約 14 W（本体 約 12 W)
充電時 （クイックスタート「切」)：約 16 W
充電時 （クイックスタート「入」)：約 20 W
待機時 （クイックスタート「切」)：約 0.1 W
待機時 （クイックスタート「入」)：約 4 W

AC アダプター
入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz
消費電力：66 VA ～ 82 VA
出力：DC 12 V、2.5 A

付属バッテリーパック DY-DB35（リチウムイオン）
電圧：7.2 V
容量（最小)：4870 mAh

本体

外形寸法（突起物を含まず）	幅 260 mm× 高さ 199.5 mm× 奥行き 55.1 mm
質量	約 1714 g (バッテリーパック含む) 約 1480 g (バッテリーパック含まず)
許容周囲温度	+5 ℃～ +35 ℃
許容相対湿度	10 %～80 %RH（結露なきこと）
液晶ディスプレイ	10.1 型 α － Si TFT ワイド液晶モニター 画素数：横 1024× 縦 600
テレビ受信チャンネル	地上デジタル放送 (ワンセグ放送対応※ 1)： UHF13 ch ～ 62 ch ※ 2
アンテナ受信入力	内蔵アンテナ：4 アンテナ 4 チューナー ダイバーシティ 方式 外部アンテナ入力端子：1 系統（75 Ω)
HDMI 映像・音声出力	端子数：1 系統（19ピン typeA端子） HDMI[本機はビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています] （480p/720p/1080i/1080p）
LAN 端子	端子数：1 系統 （10BASE-T/100BASE-TX）
USB	端子数：2 系統（USB 2.0）
SD カードスロット	端子数：1 系統
スピーカー	出力：500 mW + 500 mW (8 Ω)
音声 / 映像入力	入力端子：φ 3.5 mm ミニジャック 端子数：1 系統 **コンポジット映像入力** 入力レベル：1 Vp-p (75 Ω) **音声入力** 入力レベル： 2 Vrms (1 kHz、0 dB、10 kΩ)
ヘッドホン出力	出力端子：φ 3.5 mm ステレオミニジャック（16 ～ 32 Ω 推奨) 端子数：1 系統

※ 1 データ放送の受信には対応していません。
※ 2 トランスモジュレーション方式や周波数変換パススルー方式の CATV には対応していません。

ファイルフォーマット

ファイルフォーマット	拡張子	備考
MP3	".mp3"、".MP3"	ID3 タグ (表示できる情報はタイトルとアーティストの名前のみ)
JPEG	".jpg"、".JPG"	● MOTION JPEG およびプログレッシブ JPEG には対応していません。 ● パソコンなどでフォルダ構造やファイル名を編集したものは再生できない可能性があります。

● メディアやフォルダの作りかたによっては、再生順が異なったり再生できない場合があります。

デジタル出力される音声と設定の関係

HDMI 接続でアンプと接続時、本機の設定によって、出力される音声は異なります。(➜ 39「デジタル出力」

● 表内の ch（チャンネル数）は、各音声フォーマットに対応したアンプを接続したときの最大チャンネル数を表しています。

「デジタル出力」の設定	「Bitstream」	「PCM」
Dolby Digital	オリジナルの音声で出力※ 1	ダウンミックス 2ch
Dolby Digital EX		
Dolby Digital Plus		
Dolby TrueHD		
DTS Digital Surround	DTS Digital Surround または DTS-ES ※ 1	
DTS-ES		
DTS-HD High Resolution Audio		
DTS-HD Master Audio		

※ 1「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」に設定した場合、音声は Dolby Digital、DTS Digital Surround またはダウンミックス 2ch PCM で出力します。

補足情報

■ 言語

表示	言語	表示	言語	表示	言語
日	日本語	伊	イタリア語	露	ロシア語
英	英語	西	スペイン語	韓	韓国語
仏	フランス語	蘭	オランダ語	＊	その他
独	ドイツ語	中	中国語		

■ 言語番号一覧

言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド:	7383	ケチュア:	8185	バシキール:	6665
アイマラ:	6589	ゲール(スコットランド):	7168	バスク:	6985
アイルランド:	7165	コーサ:	8872	パシュト:	8083
アゼルバイジャン:	6590	コルシカ:	6779	パンジャブ:	8065
アッサム:	6583	サモア:	8377	ヒンディー:	7273
アファル:	6565	サンスクリット:	8365	ビハール:	6672
アフリカーンス:	6570	ショナ:	8378	ビルマ:	7789
アブハジア:	6566	シンド:	8368	フィジー:	7074
アムハラ:	6577	シンハラ:	8373	フィンランド:	7073
アラビア:	6582	ジャワ:	7487	フェロー:	7079
アルバニア:	8381	スウェーデン:	8386	フランス:	7082
アルメニア:	7289	スペイン:	6983	フリジア:	7089
イタリア:	7384	スロバキア:	8375	ブータン:	6890
イディッシュ:	7473	スロベニア:	8376	ブルガリア:	6671
インターリングア:	7365	スワヒリ:	8387	ブルターニュ:	6682
インドネシア:	7378	スンダ:	8385	ヘブライ:	7387
ウェールズ:	6789	ズールー:	9085	ベトナム:	8673
ウォロフ:	8779	セルビア:	8382	ベロルシア(白ロシア):	6669
ウクライナ:	8575	セルボクロアチア:	8372	ベンガル(バングラ):	6678
ウズベク:	8590	ソマリ:	8379	ペルシャ:	7065
ウルドゥー:	8582	タイ:	8472	ポーランド:	8076
ヴォラピュック:	8679	タガログ:	8476	ポルトガル:	8084
英語:	6978	タジク:	8471	マオリ:	7773
エストニア:	6984	タタール:	8484	マケドニア:	7775
エスペラント:	6979	タミル:	8465	マダガスカル:	7771
オーリヤ:	7982	チェコ:	6783	マライ(マレー):	7783
オランダ:	7876	チベット:	6679	マラッタ:	7782
カザフ:	7575	中国語:	9072	マラヤーラム:	7776
カシミール:	7583	ティグリニア:	8473	マルタ:	7784
カタロニア:	6765	テルグ:	8469	モルダビア:	7779
ガリチア:	7176	デンマーク:	6865	モンゴル:	7778
韓国(朝鮮)語:	7579	トウイ:	8487	ヨルバ:	8979
カンナダ:	7578	トルクメン:	8475	ラオ:	7679
カンボジア:	7577	トルコ:	8482	ラテン:	7665
キルギス:	7589	トンガ:	8479	ラトビア(レット):	7686
ギリシャ:	6976	ドイツ:	6869	リトアニア:	7684
クルド:	7585	ナウル:	7865	リンガラ:	7678
クロアチア:	7282	日本語:	7465	ルーマニア:	8279
グアラニー:	7178	ネパール:	7869	レトロマンス:	8277
グジャラト:	7185	ノルウェー:	7879	ロシア:	8285
グリーンランド:	7576	ハウサ:	7265		
グルジア:	7565	ハンガリー:	7285		

著作権など

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。
- テレビでネットなどのインターネットサービス
- 番組表表示などの電子番組表サービス
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。
（1） パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
（2） 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
（3） GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
（4） GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア
（5） GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://www.am-linux.jp/dl/AWBPP11

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア（GPL/LGPL ソフトウェア）は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest@am-linux.jp

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://www.am-linux.jp/dl/AWBPP11

(5) には以下が含まれます。
1. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
2. This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
3. FreeType code.
4. The Independent JPEG Group's JPEG software.

This product incorporates the following software:
(1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
(2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
(3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2 (GPL v2),
(4) the software licensed under the GNU LESSER General Public License, Version 2.1 (LGPL v2.1) and/or,
(5) open sourced software other than the software licensed under the GPL v2 and/or LGPL v2.1

For the software categorized as (3) and (4), please refer to the terms and conditions of GPL v2 and LGPL v2.1, as the case may be at
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
and
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html.
In addition, the software categorized as (3) and (4) are copyrighted by several individuals.
Please refer to the copyright notice of those individuals at
http://www.am-linux.jp/dl/AWBPP11

The GPL/LGPL software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

At least three (3) years from delivery of products, Panasonic will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL v2/LGPL v2.1.

Contact Information
cdrequest@am-linux.jp

Source code is also freely available to you and any other member of the public via our website below.
http://www.am-linux.jp/dl/AWBPP11

For the software categorized as (5) includes as follows.
1. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
2. This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
3. FreeType code.
4. The Independent JPEG Group's JPEG software.

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
  DTS とそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。
  DTS 2.0 + Digital Out 及び DTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含みます。© DTS, Inc. 不許複製。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Skype、関連する商標とロゴおよび Ⓢ マークは、Skype Limited 社の商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn”© OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “DVD Logo”は DVD フォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本機が表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機は2011年1月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 危険

■ 指定以外のバッテリーパックを使わない
■ バッテリーパックの端子部 (⊕・⊖) に金属物 (ネックレスやヘアピンなど) を接触させない
■ バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど)、加圧、加熱、水などの液体や火の中へ入れたりしない
■ バッテリーパックを電子レンジやオーブンなどで加熱しない
■ バッテリーパックを炎天下 (特に真夏の車内) など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要 (寿命) になったバッテリーについては、12 ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。

液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

バッテリーパックは、本機で充電する

本機以外で充電すると、液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜きバッテリーパックを外す

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体や AC アダプターが破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

乾電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

メモリーカードや miniB-CAS カードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。
- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

歩行中や乗り物を運転中に使用しない

交通事故の原因になります。

⚠警告

乾電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

使い切った乾電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

液晶画面やアンテナやスタンドをつかんで持ち上げたり、運んだりしない

落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

⚠注意

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
- 背面の放熱孔をふさがないでください。
- 背面の放熱孔をふさぐような場所で使用しないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60 ℃以上) になります。本機やバッテリー、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない

本機の磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
また、磁気の影響を受けるのでテレビやパソコン等の近くに置かないでください。

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない

本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

スタンドは開ききって設置する

開ききらないで設置すると、倒れたり落下し、けがの原因になることがあります。
- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

指定の AC アダプターを使う

指定外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

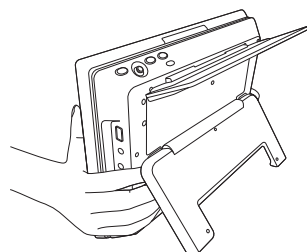
長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜きバッテリーパックを外す

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスク・カード・USB 機器は、保護のため取り出しておいてください。

本機を設置するときや移動させるときは、本体とスタンドの間に指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

■ まず、お買い求め先へご相談ください

お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(　　　)　　　－
お買い上げ日	年　　月　　日
miniB-CASカード番号	

※miniB-CAS カード番号を記入してください。
　お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな！？」「こんな表示が出たら」（➜ 43 ～ 45）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● **製品名**	**ブルーレイディスク プレーヤー搭載ポータブル 地上デジタルテレビ**
● **品　番**	**DMP-BV300**
● **故障の状況**	**できるだけ具体的に**

- **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
  保証期間 ：お買い上げ日から本体 1 年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	**診断・修理・調整・点検などの費用**
部品代	**部品および補助材料代**
出張料	**技術者を派遣する費用**

※　**補修用性能部品の保有期間**　8 年
当社は、このブルーレイディスクプレーヤー搭載ポータブル地上デジタルテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※　ご使用の回線（ＩＰ電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● **使いかた・お手入れなどのご相談は** ・・・・・

パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電 話　フリーダイヤル（携帯･PHS OK）　**0120-878-981**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● **修理に関するご相談は** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・

パナソニック 修理ご相談窓口
電 話　フリーダイヤル（携帯･PHS OK）　**0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	所在地
北海道地区	札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 1210

さくいん

● **使いかた・お手入れなどのご相談は** ‥‥‥

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック VIERA(ビエラ)ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-981**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● **修理に関するご相談は** ‥‥‥‥‥‥‥‥‥

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

● 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検　**長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤー搭載ポータブル地上デジタルテレビの点検を！**

こんな症状はありませんか
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止
故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、バッテリーパックを外して、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワークシステム事業グループ
〒 571 − 8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT3B85-5
F0111BL4042